

アンケート調査結果のまとめ

調査票 A

15 歳以上の住民 3,000 人を対象

1. 調査概要

これまでの町政やまちづくりに関する満足度や評価、今後重視すべき取組などについて幅広い世代の意識や意向を把握し、第4次総合計画改訂の基礎資料として活用することを目的として実施しました。

②調査方法

- 調査対象者：町内の全世帯から無作為抽出
- 配布・回収方法：郵送による配布・回収
- 実施期間：令和元年11月29日～令和元年12月23日（25日間）

③配付・回収状況

調査配付数	回収数	回収率（%）
3,000	1,633	54.4

④調査項目

1. あなたご自身のことについて
2. 府中町での暮らしやすさに関する意識について
3. 町民の地域づくりへの参画について
4. まちづくりの評価等について
5. 府中町へ転入したきっかけや理由などについて
6. 府中町のまちづくりの将来像について
7. その他・ご意見・ご提言

⑤報告書の見方

- a 回答結果は、有効サンプル数に対して、それぞれの回答の占める割合を示しています。小数第2位を四捨五入しているため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- b 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの回答の占める割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- c グラフ及び表のサンプル数（n）は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- d 本文中の設問及び選択肢は簡略化している場合があります。

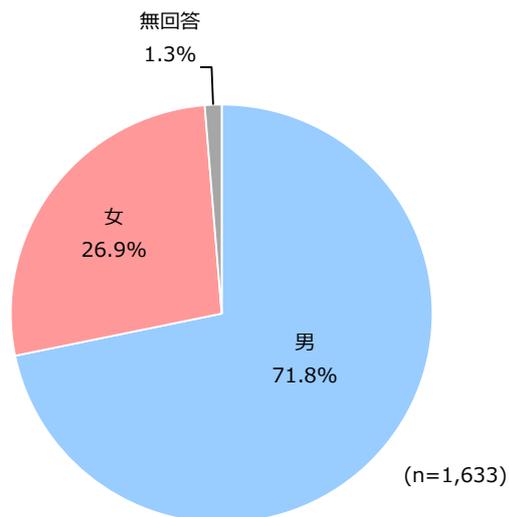
2. 調査結果

1. あなたご自身のことについて

問1 あなたご自身のことについておたずねします。

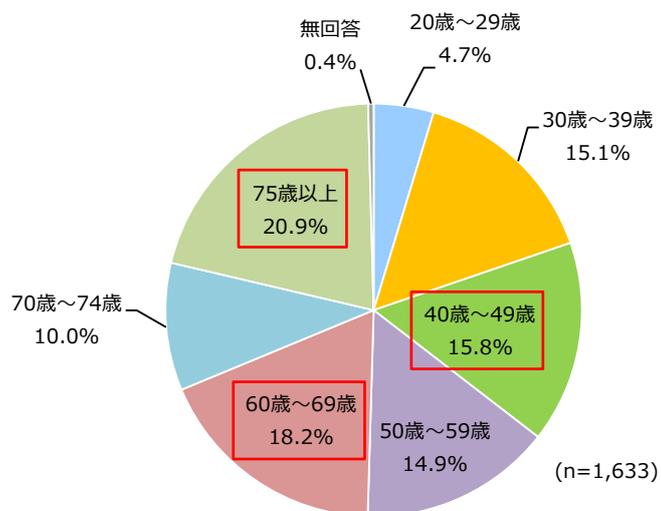
①性別

➤回答者の構成は、「男性」が71.8%、「女性」が26.9%となっています。



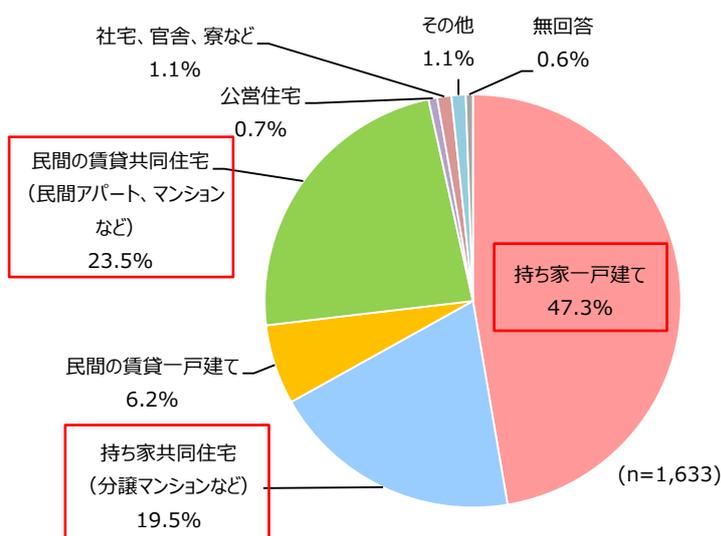
②年齢

➤回答者の年齢構成は、多い順に「75歳以上」20.9%、「60歳～69歳」18.2%、「40歳～49歳」15.8%と続いています。



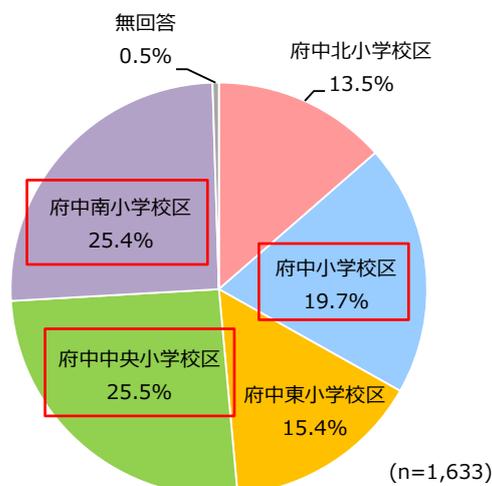
③居住形態

- 居住形態は、「持ち家一戸建て」が47.3%、「持ち家共同住宅（分譲マンションなど）」が19.5%となり、持ち家比率が合計で7割近くになっています。
- 賃貸では、「民間の賃貸共同住宅（民間アパート、マンションなど）」が23.5%と最も多くなっています。



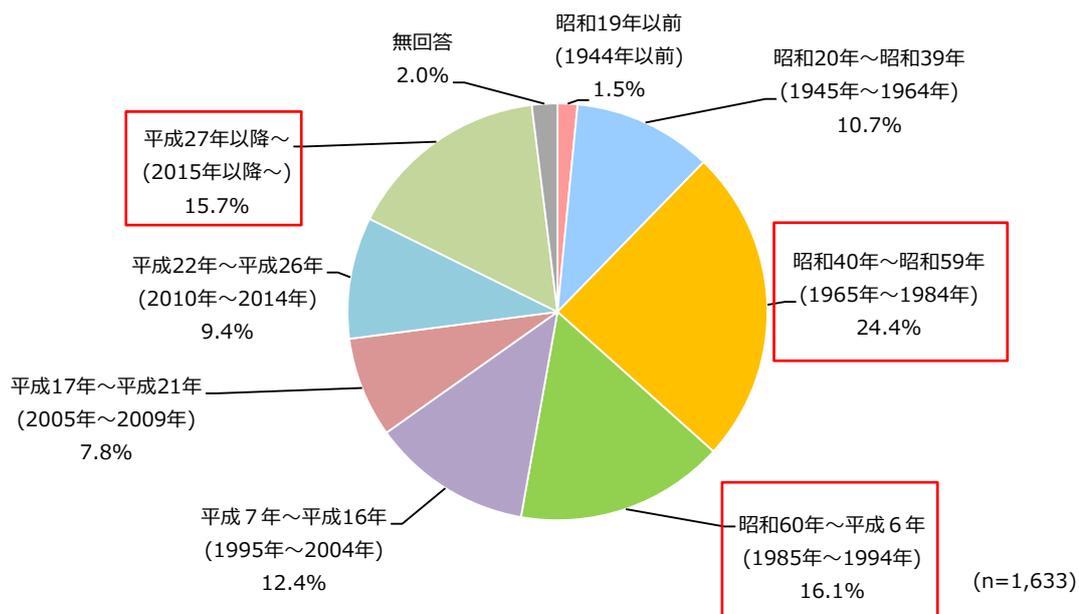
④お住まいの地域

- 「府中中央小学校区」が25.5%、「府中南小学校区」が25.4%、「府中小学校区」19.7%などとなっています。



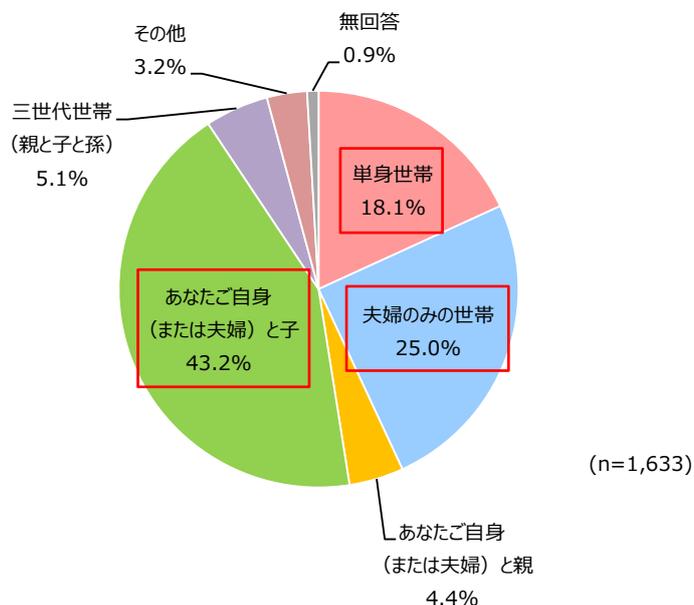
⑤いつから府中町にお住まいですか。

- 居住時期は、「昭和40年～昭和59年（1965年～1984年）」24.4%、「昭和60年～平成6年（1985年～1994年）」16.1%など、居住年数が25年以上の住民が半数を超えています。
- 一方で、居住時期が新しい「平成27年以降～（2015年以降～）」が15.7%を占めています。



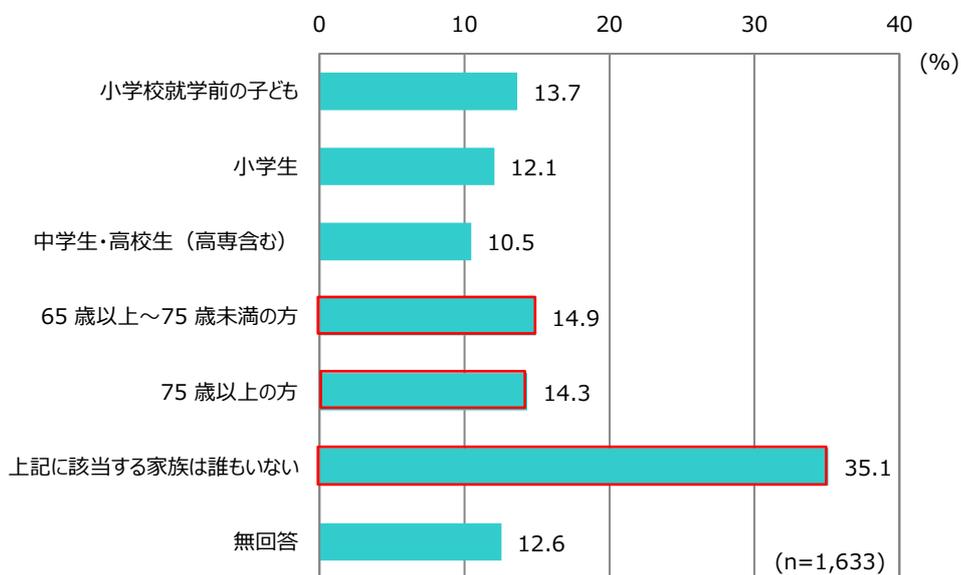
⑥同居家族の構成

- 同居家族の構成は、「あなたご自身（または夫婦）と子」が43.2%と最も多く、「夫婦のみの世帯」が25.0%、「単身世帯」が18.1%と続いています。



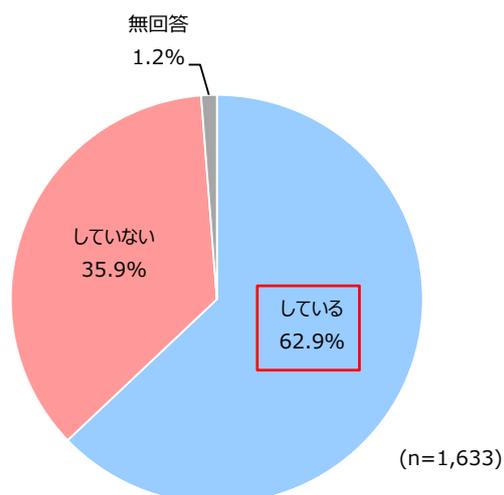
⑦同居されているご家族の中に、あなたを含めて次のような方はいますか。

➤同居家族（または回答者本人）は、「上記に該当する家族は誰もいない」が35.1%と最も多く、「65歳以上～75歳未満の方」14.9%、「75歳以上の方」14.3%と続いています。



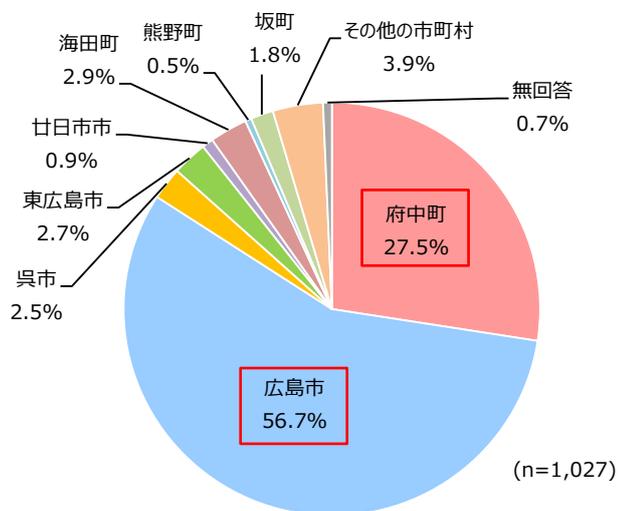
⑧あなたは現在、就職あるいは就学されていますか。

➤現在、就職あるいは就学「している」が62.9%を占めています。



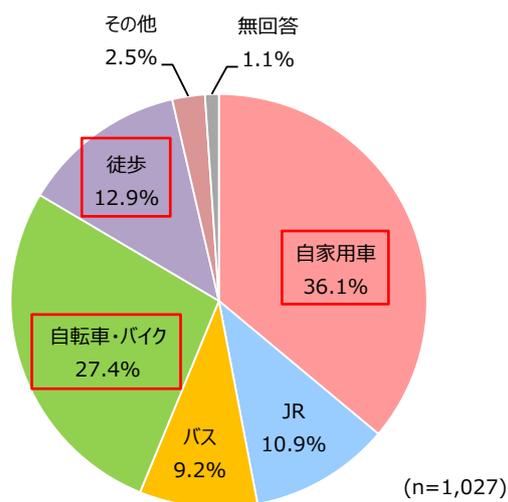
⑨就職あるいは就学されている方へお聞きします。あなたの通勤・通学先はどこですか。

➤通勤・通学先は、「広島市」56.7%、「府中町」27.5%が特に多くなっています。



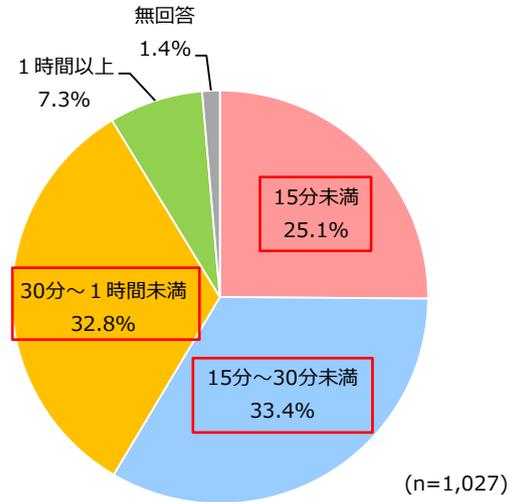
⑩あなたの主な通勤・通学手段は何ですか。

➤通勤・通学手段は、「自家用車」が36.1%と最も多く、「自転車・バイク」が27.4%、「徒歩」が12.9%となり、私的交通手段の利用が8割近く占めています。
➤JRおよびバスなどの公共交通機関の利用は、20.1%と少なくなっています。



⑪通勤・通学時間はどのくらいですか。

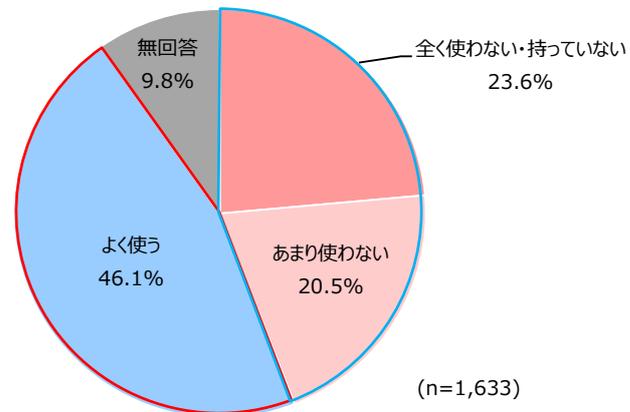
- 通勤・通学時間は、「15分～30分未満」が33.4%、「30分～1時間未満」が32.8%、「15分未満」が25.1%となっています。
- 比較的短時間の30分未満が6割近くを占めています。



⑫あなたは普段、パソコンやスマートフォンを使用していますか。

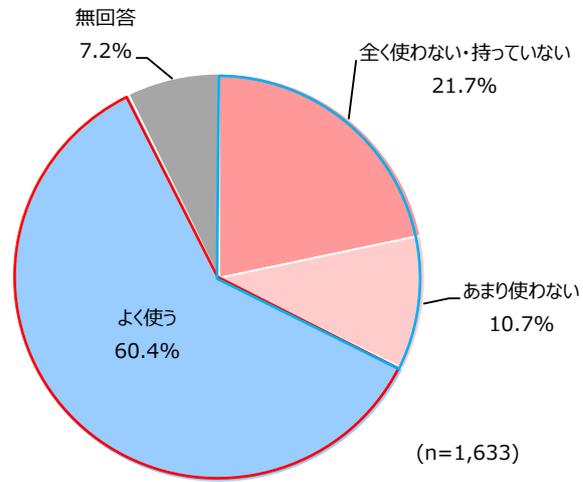
ア. パソコン

- パソコンの使用は、「よく使う」が46.1%と半数近くを占め、「全く使わない・持っていない」が23.6%、「あまり使わない」が20.5%と少なくなっています。



イ. スマートフォン

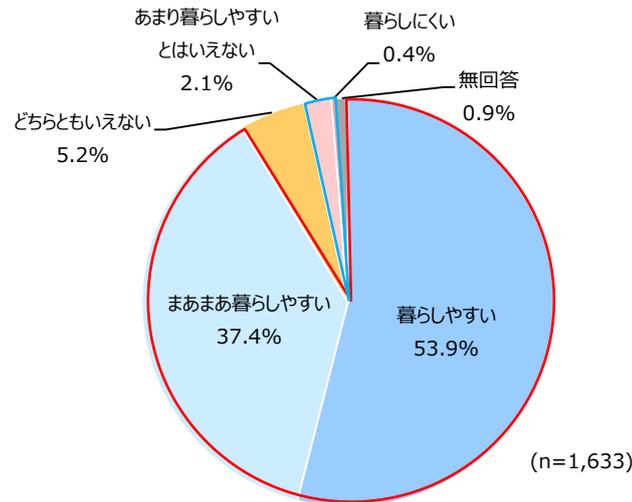
➤スマートフォンの使用は、「よく使う」が60.4%と多く、それに対し「全く使わない・持っていない」が21.7%、「あまり使わない」が10.7%と少なくなっています。



2. 府中町での暮らしやすさに関する意識について

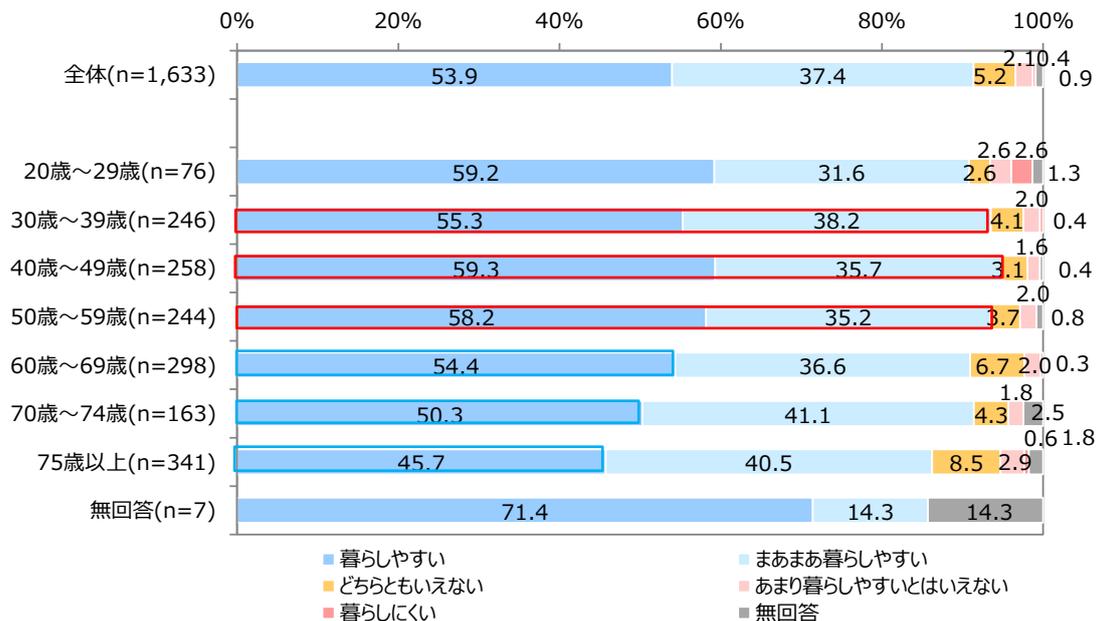
問2 あなたにとって、府中町は暮らしやすいまちですか。

- 「暮らしやすい」、「まあまあ暮らしやすい」の合計（以下『暮らしやすい』）は、91.3%を占めています。
- 一方で、「暮らしにくい」、「あまり暮らしやすいとはいえない」の合計（以下『暮らしにくい』）は2.5%と少なくなっています。



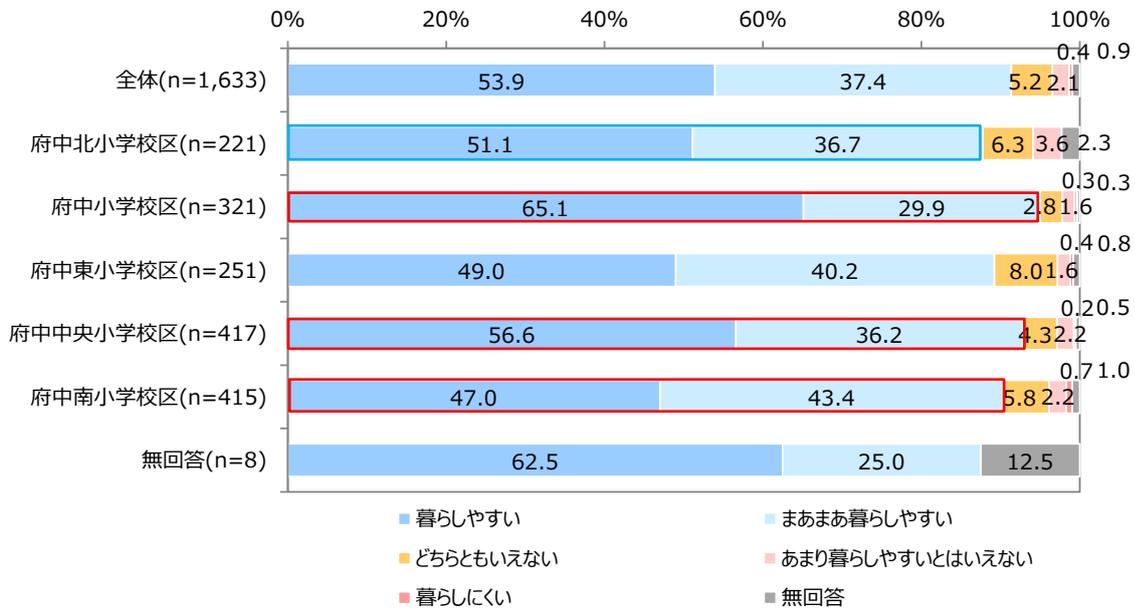
●年齢別

- 年齢別では、『暮らしやすい』と回答した割合は、「40歳～49歳」95.0%、「30歳～39歳」93.5%、および「50歳～59歳」93.4%と高くなっています。
- 一方60歳以上では、年齢の増加とともに「暮らしやすい」と回答した割合が減少する傾向がみられます。



●居住地域別

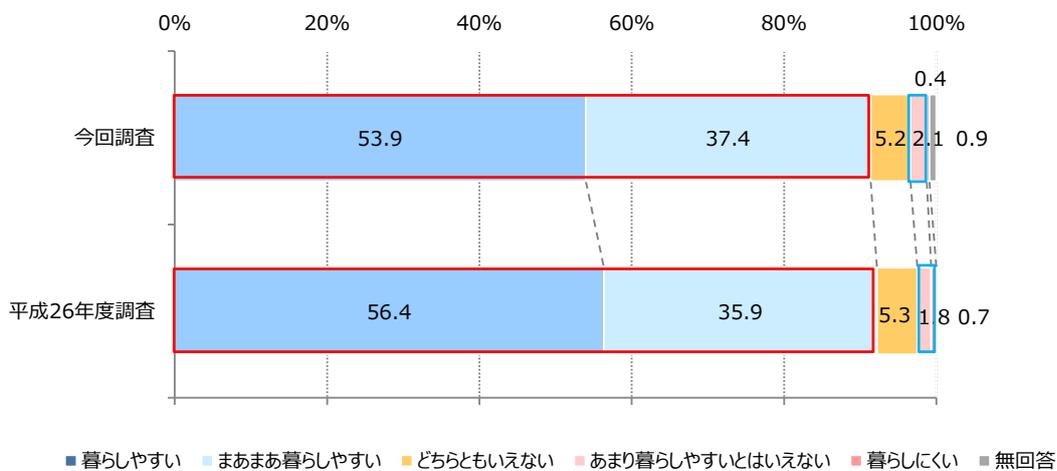
➤居住地域別に比較すると、「府中小学校区」、「府中中央小学校区」および「府中南小学校区」は『暮らしやすい』が90%を超えています。
 ➤「府中北小学校区」は、『暮らしやすい』が87.8%とやや低く、最多の「府中小学校区」とは7ポイントの差となっています。



●前回調査との比較

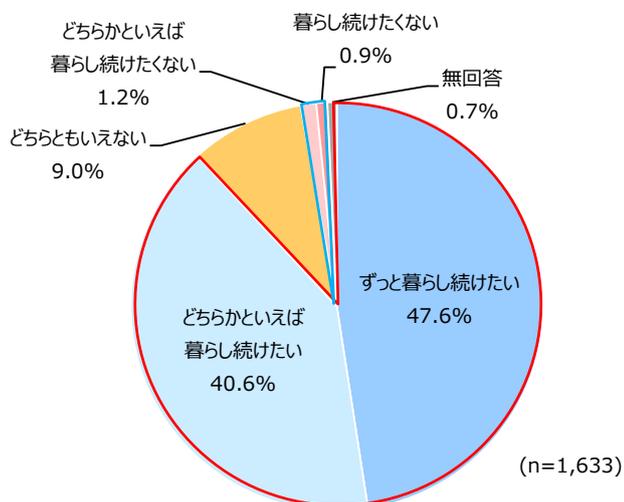
➤前回調査と比べて、『暮らしやすい』が1.0ポイント、『暮らしにくい』が0.2ポイント減少となっている程度で、大きな変化はみられません。

※第4次総合計画策定時に実施した調査（平成26年度）との比較



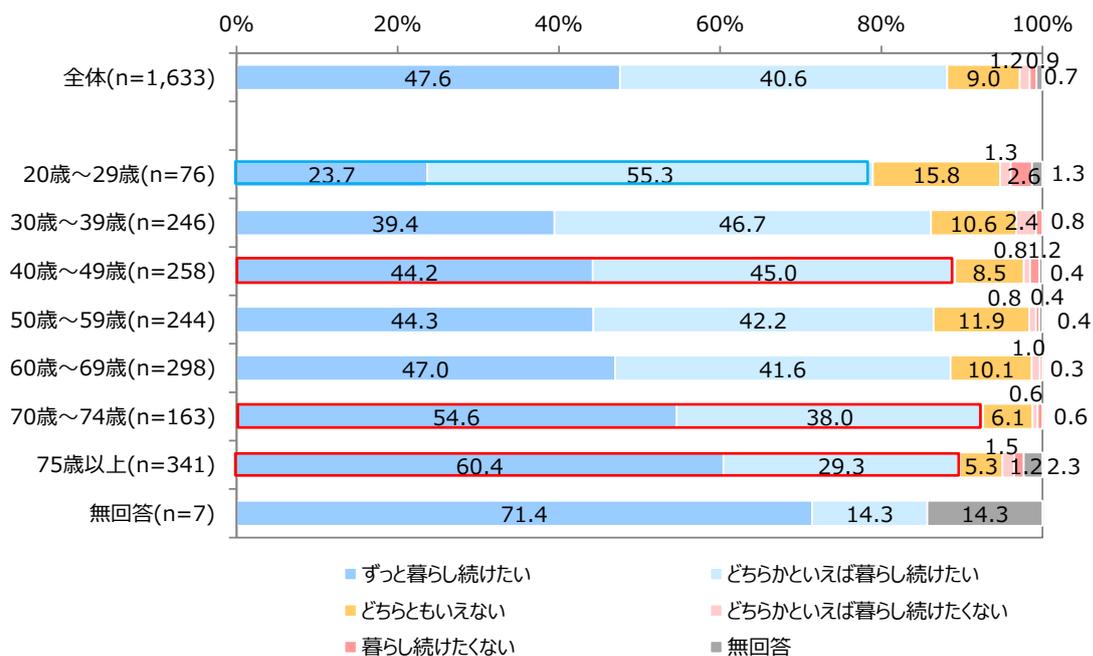
問3 あなたは、今後も府中町に暮らし続けたいですか。

- 「ずっと暮らし続けたい」が47.6%、「どちらかといえば暮らし続けたい」が40.6%となり、9割程度が『暮らし続けたい』と考えています。
- 『暮らし続けたくない』は、2.1%と僅かです。



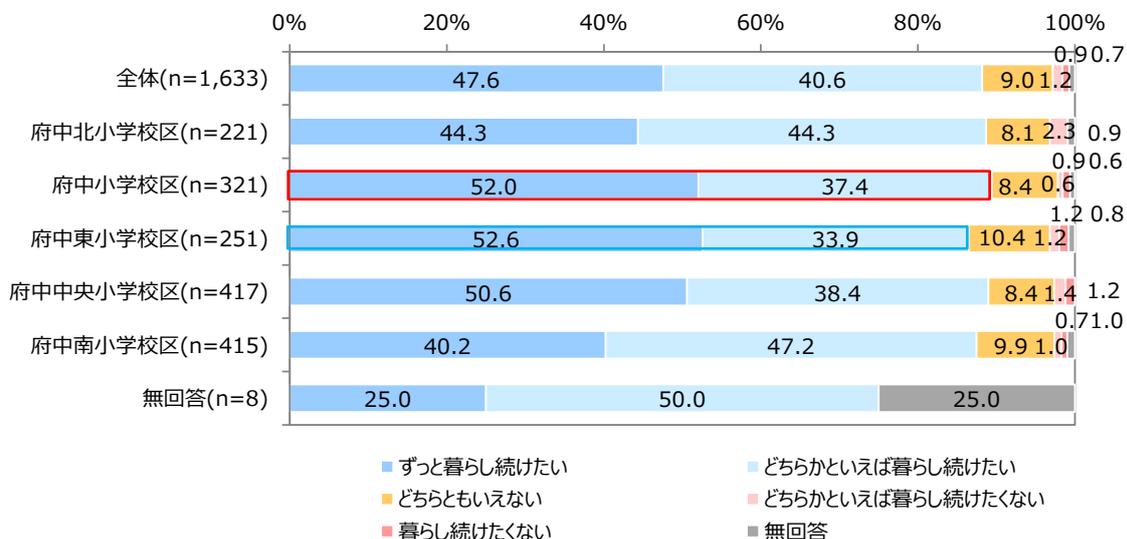
●年齢別

- 年齢別に比較すると、『暮らし続けたい』は、「70歳～74歳」が92.6%、「75歳以上」が89.7%、「40歳～49歳」が89.2%などと高くなっています。
- 一方、「20歳～29歳」が79.0%と最も低く、若者の定住促進に向けたまちづくりの課題として示されています。



●居住地域別

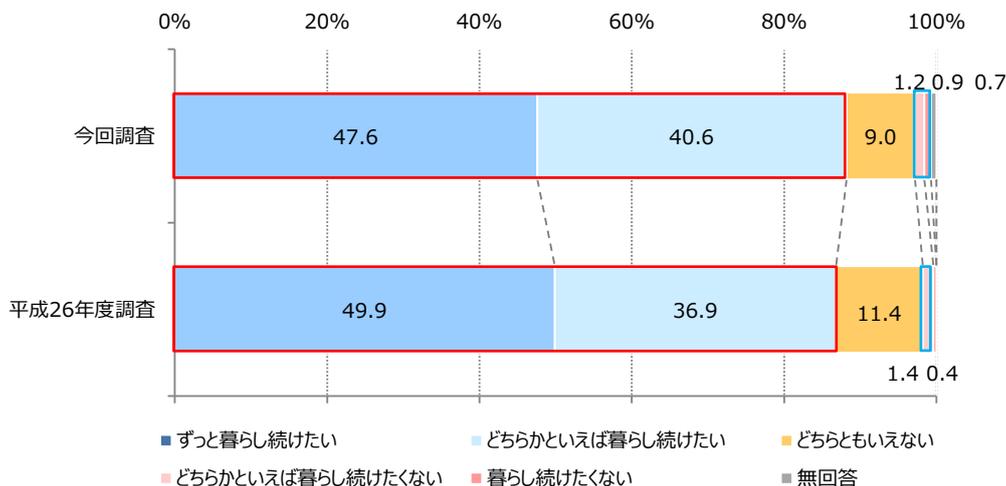
➤居住地域別に比較すると、『暮らし続けたい』は「府中小学校区」が89.4%と最も高く「府中東小学校区」が86.5%と最も低くなっていますが、その差は2.9%と僅かです。



●前回調査との比較

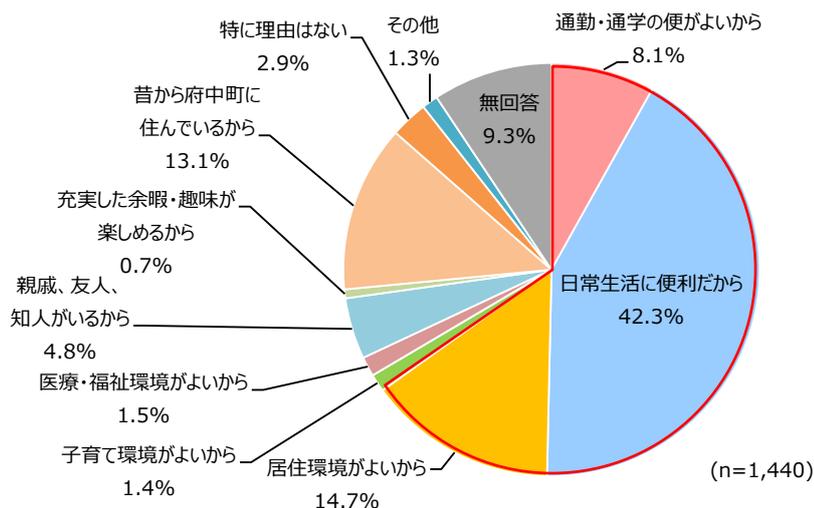
➤前回調査との比較では、『暮らし続けたい』が+1.4ポイントとなっていますが、『暮らし続けたくない』も+0.3ポイントの微増となっています。

※第4次総合計画策定時に実施した調査（平成26年度）との比較



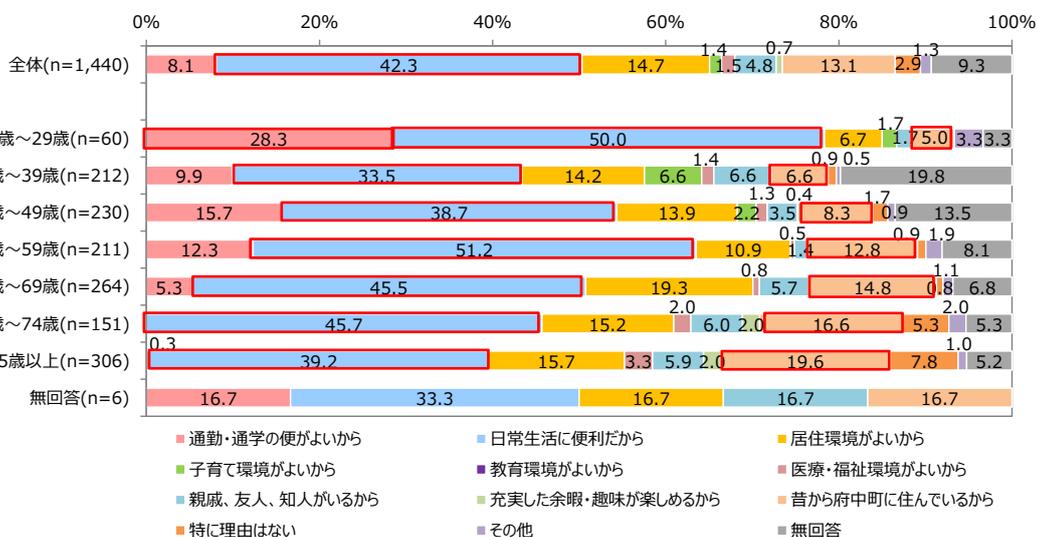
問4 問3で「ずっと暮らし続けたい」又は「どちらかといえば暮らし続けたい」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。

- 「日常生活に便利だから」42.3%、「居住環境がよいから」14.7%、「通勤・通学の便がよいから」8.1%など、生活環境に関連する項目の割合が7割程度を占めています。
- また「昔から府中町に住んでいるから」13.1%や「親戚、友人、知人がいるから」4.8%など地縁や関係性が理由となっているものが2割程度を占めています。



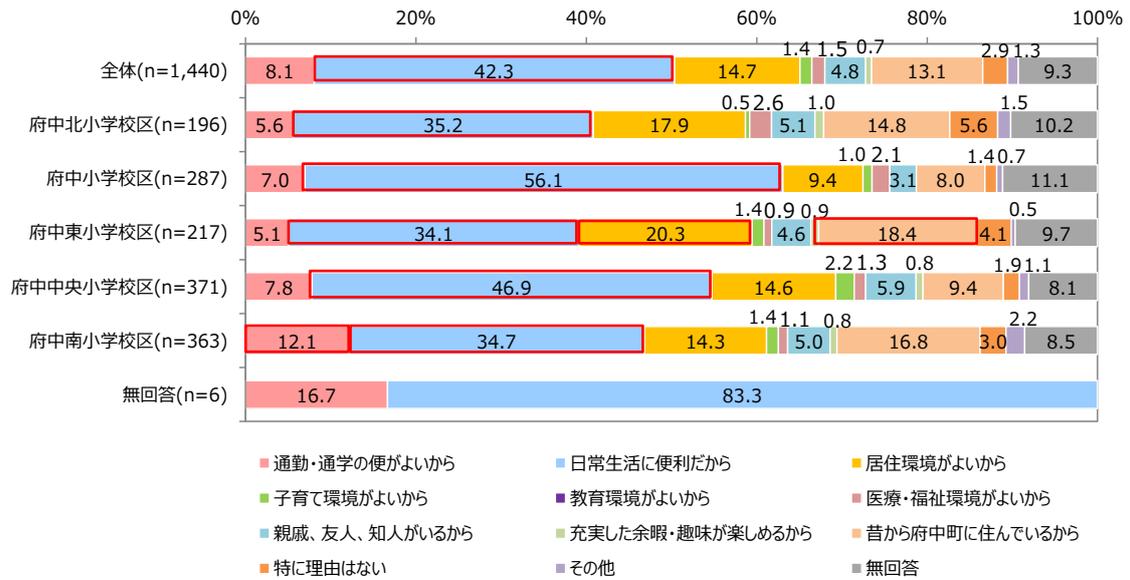
●年齢別

- 全年代で「日常生活に便利だから」が最も多くなっています。
- 特徴的なものとして、20歳～29歳では「通勤・通学の便がよいから」が多くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「昔から府中町に住んでいるから」が多くなっています。



●居住地域別

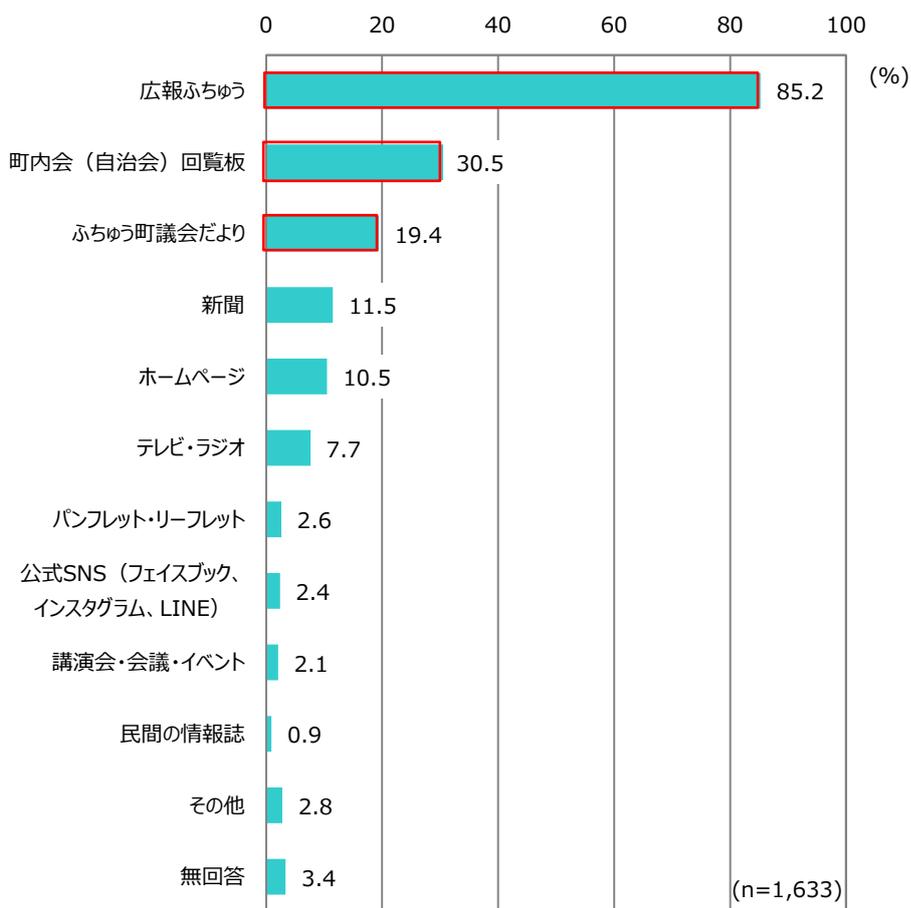
➤全地域で「日常生活に便利だから」が最も多くなっています。最も高いのは「府中小学校区」の56.1%、最も低いのは「府中東小学校区」の34.1%です。
 ➤その他の項目を見ると、「居住環境がよいから」、「昔から府中町に住んでいるから」は「府中東小学校区」が多く、「通勤・通学の便がよいから」は「府中南小学校区」が多くなっています。



3. 町民の地域づくりへの参画について

問5 府中町の町政に関する情報を主にどこから得ていますか。

➤ 「広報ふちゅう」から情報を得ているのが85.2%、次いで「町内会（自治会）回覧板」が30.5%、「ふちゅう町議会だより」が19.4%となり、印刷物による情報収集が主となっています。



●年齢別

- 全年代で「広報ふちゅう」が最も多いですが、年齢が高くなるにつれて「ふちゅう町議会だより」も多くなる傾向にあります。
- また70歳以上は「町内会（自治会）回覧板」が多く、75歳以上は「ホームページ」が少なくなっています。
- 全年代で「テレビ・ラジオ」、「パンフレット・リーフレット」、「公式SNS（フェイスブック、インスタグラム、LINE）」、「講演会・会議・イベント」、「民間の情報誌」などの利用は少ない状況です。

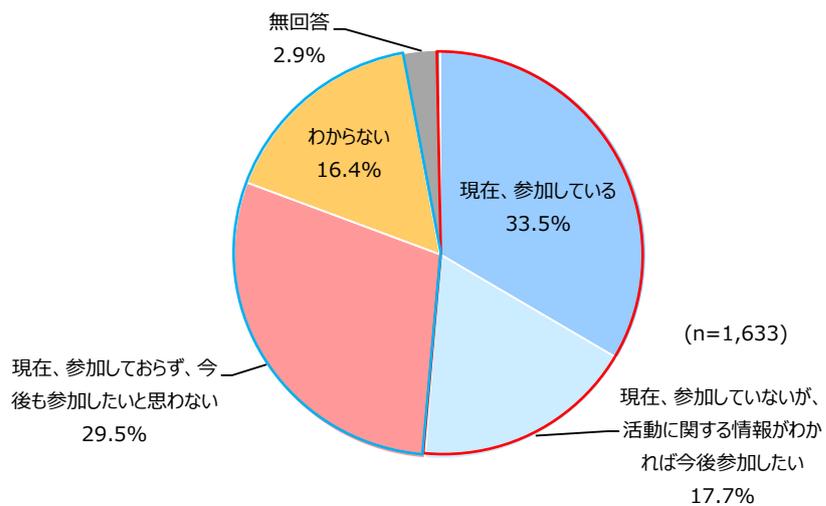
※各年代別に最大値項目から順に色付け。

	全体	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	無回答
広報ふちゅう	85.2%	57.9%	79.7%	85.7%	88.1%	90.6%	90.8%	85.6%	85.7%
町内会（自治会）回覧板	30.5%	14.5%	16.7%	23.6%	21.3%	31.9%	49.7%	45.7%	14.3%
ふちゅう町議会だより	19.4%	5.3%	8.9%	14.7%	14.8%	22.8%	30.7%	28.7%	14.3%
新聞	11.5%	1.3%	1.6%	7.4%	11.1%	13.1%	17.2%	20.5%	0.0%
ホームページ	10.5%	14.5%	17.1%	14.3%	8.6%	12.1%	10.4%	2.1%	14.3%
テレビ・ラジオ	7.7%	9.2%	5.3%	5.8%	5.3%	6.7%	11.0%	11.4%	0.0%
パンフレット・リーフレット	2.6%	5.3%	2.0%	3.5%	1.2%	2.7%	1.8%	3.2%	0.0%
公式SNS（フェイスブック、インスタグラム、LINE）	2.4%	3.9%	6.9%	4.7%	0.8%	1.0%	0.6%	0.3%	0.0%
講演会・会議・イベント	2.1%	1.3%	0.4%	0.0%	0.8%	1.3%	5.5%	4.7%	14.3%
民間の情報誌	0.9%	0.0%	2.0%	0.8%	0.4%	0.3%	2.5%	0.6%	0.0%
その他	2.8%	2.6%	4.5%	1.6%	1.6%	1.7%	4.3%	3.8%	0.0%
無回答	3.4%	10.5%	5.3%	1.2%	2.0%	1.3%	2.5%	5.0%	14.3%
回答者数計	1633	76	246	258	244	298	163	341	7

問6 あなたは、以下の地域活動に参加したことがありますか。

①町内会（自治会）の活動

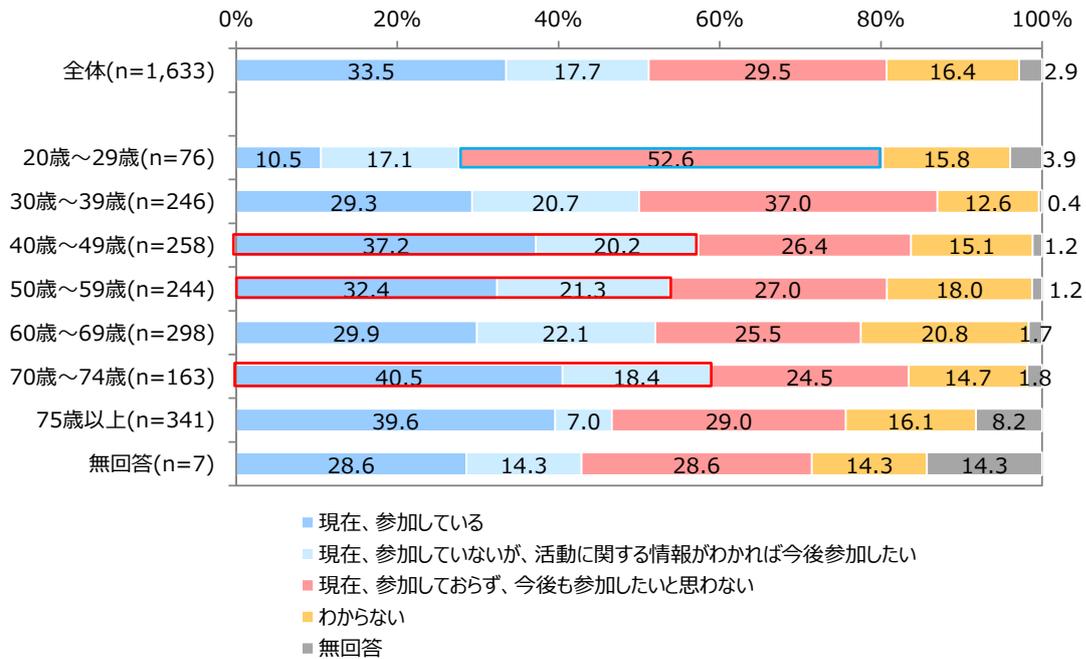
- 「現在、参加している」と「現在、参加していないが、活動に関する情報がわかれば今後参加したい」（以下『参加・今後参加』）が50%を超え、半数以上が町内会活動に高い関心を持っている状況が伺えます。
- 一方、「現在、参加しておらず、今後も参加したいと思わない」が29.5%を占めており、「わからない」16.4%も含め、活動への参加意向を促す方策の必要性が示されています。



●年齢別

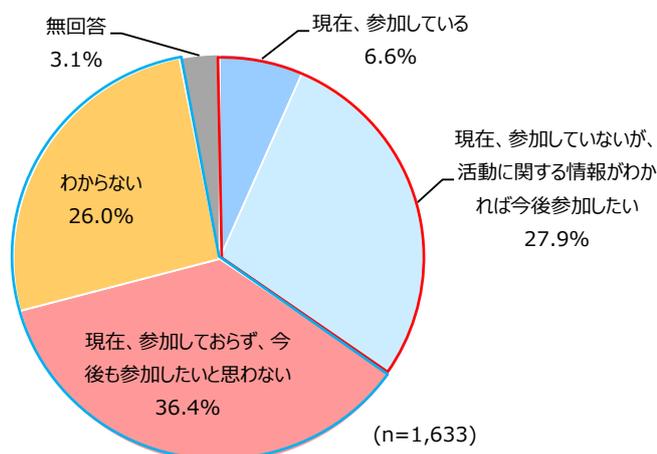
➤年齢別に比較すると、『参加・今後参加』は、「70歳～74歳」が58.9%、「40歳～49歳」が57.4%、「50歳～59歳」が53.7%と多くなっています。

➤一方、「現在、参加しておらず、今後も参加したいと思わない」は、「20歳～29歳」が52.6%と最も多く、若い世代の町内会活動への関わりが希薄になっている状況が伺えます。



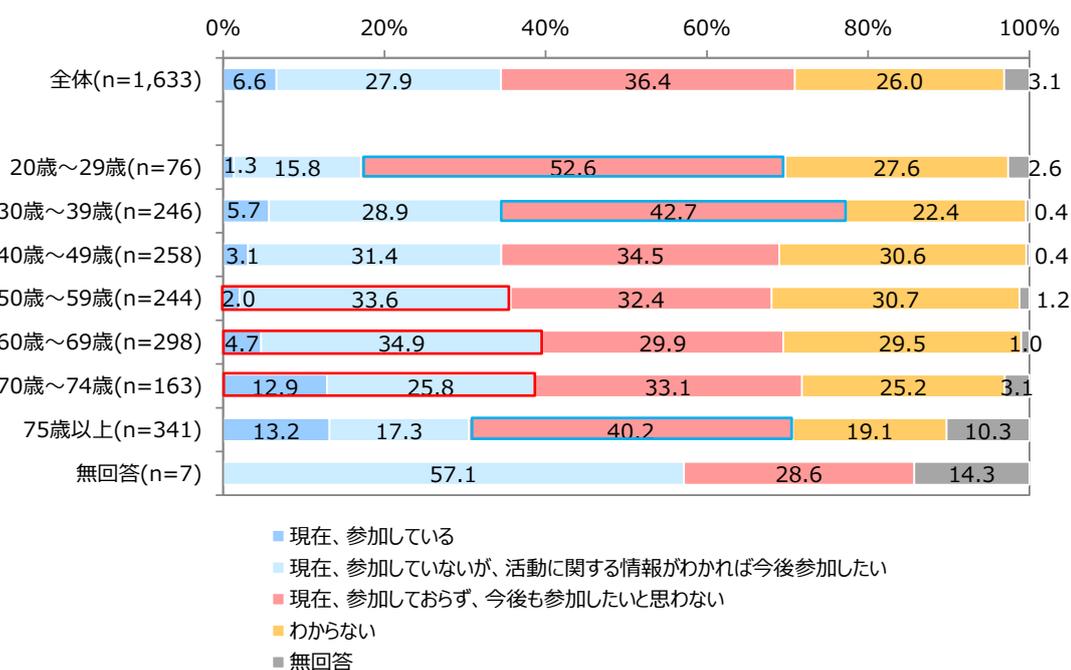
②公民館の活動

> 公民館の活動は、『参加・今後参加』が34.5%を占めていますが、「現在、参加しておらず、今後も参加したいと思わない」が36.4%とそれを上回っています。
 > 「わからない」も26.0%を占めていることから、公民館活動に関する啓発の必要性が示されています。



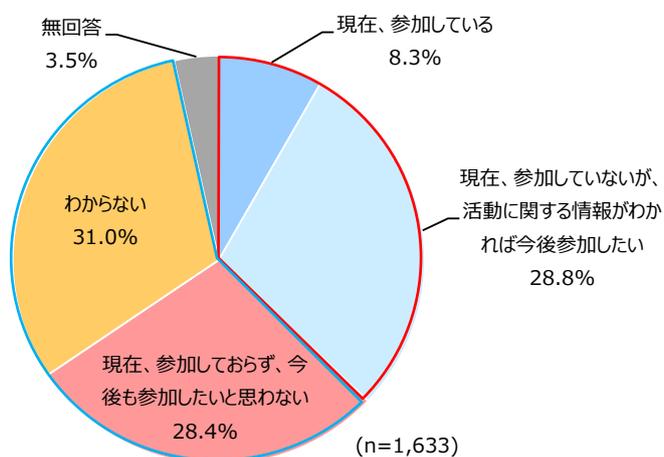
●年齢別

> 『参加・今後参加』が多い年代は、「60歳～69歳」39.6%、「70歳～74歳」38.7%、「50歳～59歳」35.6%などとなっています。
 > 一方、「現在、参加しておらず、今後も参加したいと思わない」が多いのは、若年層の「20歳～29歳」52.6%、「30歳～39歳」42.7%とともに、最高年齢層の「75歳以上」が40.2%となっています。



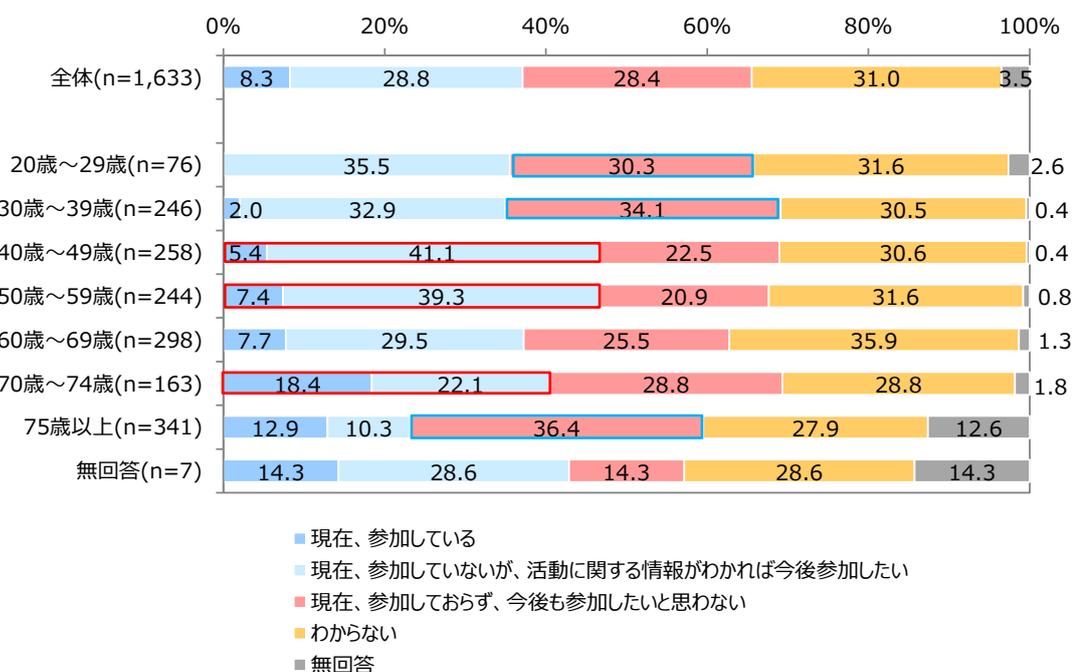
③ボランティア活動

- 『参加・今後参加』は37.1%となっています。
- 一方、「わからない」と「現在、参加しておらず、今後も参加したいと思わない」を合わせると59.4%となり、ボランティア活動に関心の少ない人が多くを占めており、啓発活動の必要性が伺えます。



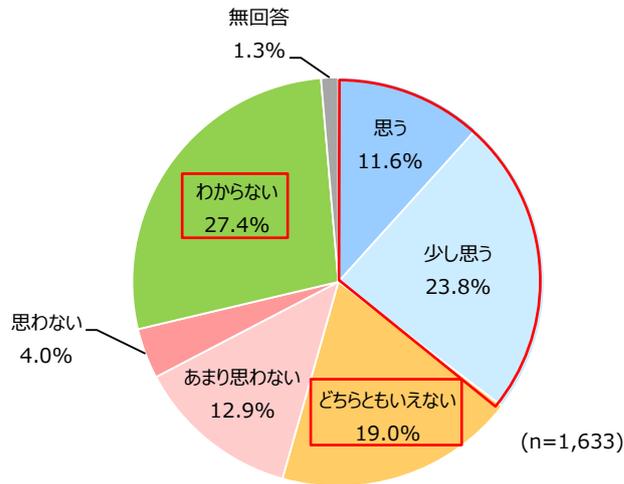
●年齢別

- 『参加・今後参加』が多いのは、「50歳～59歳」46.7%、「40歳～49歳」46.5%、「70歳～74歳」40.5%などとなっています。
- 一方、「現在、参加しておらず、今後も参加したいと思わない」は、「75歳以上」36.4%、「30歳～39歳」34.1%、「20歳～29歳」30.3%などと多くなっています。



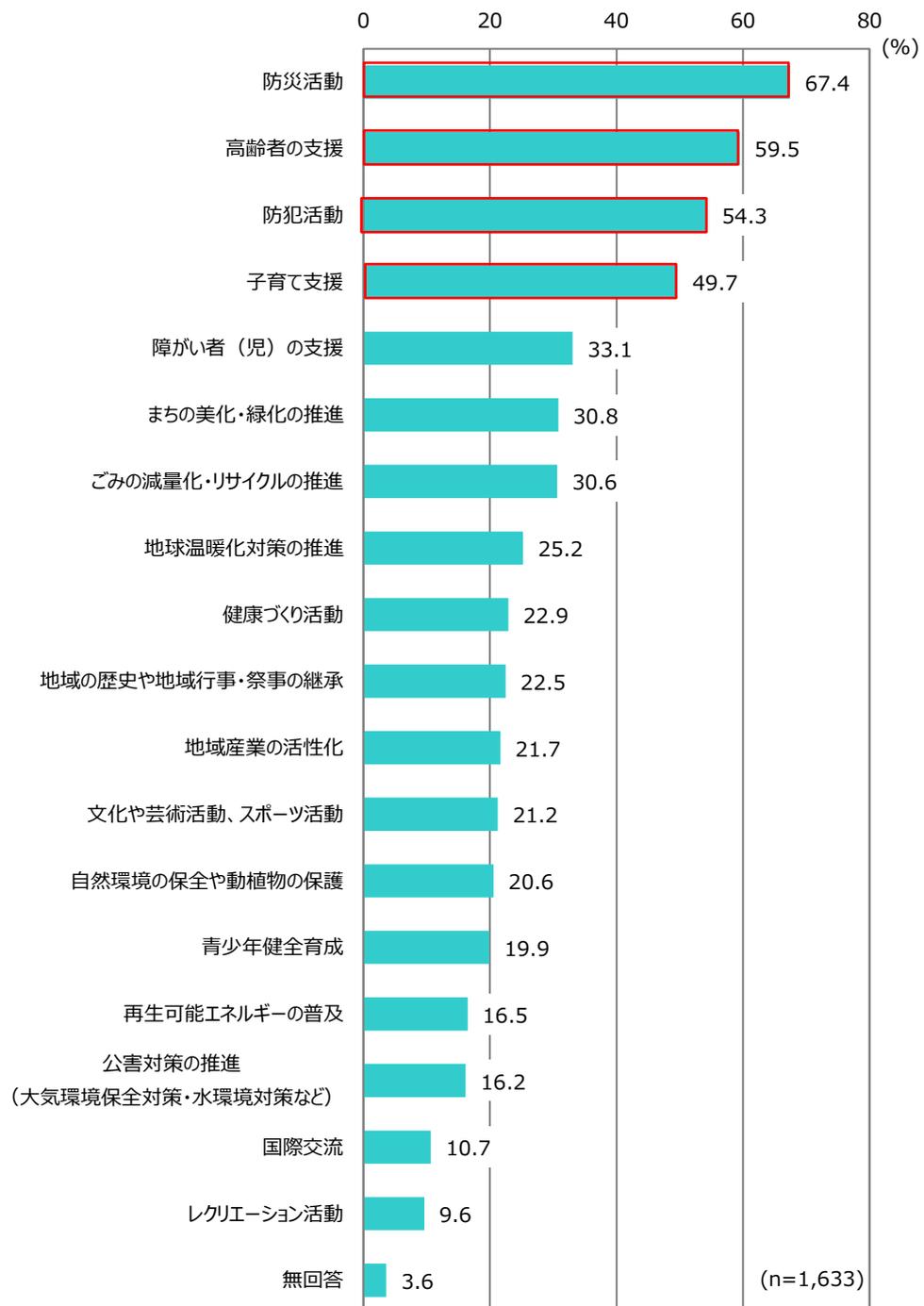
問7 現在の府中町は、住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか。

- 「思う」と「少し思う」の合計が35.4%で、協働のまちづくりの取り組みに対する認知度はあまり高くないことが伺えます。
- 一方、「わからない」と「どちらともいえない」の合計が46.4%を占めており、取り組みが町民に理解されていない状況が伺えます。



問8 下記の各取組のうち、行政（府中町や国、県）と住民や民間企業等が連携して取り組むべきであると思うものに○をつけてください。

- 連携して取り組むべき活動としては、「防災活動」、「高齢者の支援」および「防犯活動」が50%を超えています。
- それに次いで「子育て支援」も49.7%と高くなっており、これら指摘の多い活動は、行政・住民・企業が連携することで大きな相乗効果が期待されていると考えられます。



4. まちづくりの評価等について

問9 お住まいの地域について、次の項目をそれぞれ5段階で評価してください。

●暮らしの利便性

- 「便利 安心 満足 充実」、「やや便利 やや安心 やや満足 やや充実」の合計（以下『満足』）が多いのは、「日常的な買い物」74.3%、「病院の利用」59.1%、「公共交通機関の利用」53.8%などとなっています。
- 一方、「やや不便 やや不安 やや不満 やや不十分」、「不便 不安 不満 不十分」の合計（以下『不満』）が多いのは、「身近な生活道路」の19.7%となっています。

●安心・安全

- 『満足』の最も多いのが「水害・地震・がけ崩れなどの災害への対策」の22.3%であり、全般的に満足度は低い状況にあります。
- 一方、『不満』は、「歩行や自転車通行への安全対策」45.6%、「水害・地震・がけ崩れなどの災害への対策」37.5%、「犯罪への対策」26.7%などで高くなっています。

●環境

- 『満足』が多いのは、「ごみ処理・リサイクル等への取り組み」42.3%、「騒音・振動・悪臭などの少なさ」38.4%、「下水道（し尿収集含む）の状況」35.1%などとなっています。
- 一方、『不満』の項目は全般的に少なく、「騒音・振動・悪臭などの少なさ」が13.9%で最多となっています。この項目については『満足』も多かったことから、回答者によって評価が分かれていることが予想されます。

●教育

- 『満足』の評価は全般に低く、「子どもの教育環境」30.8%が突出しています。
- 一方、『不満』の項目では、「放課後の子どもの遊び場」が26.9%と最も多くなっています。

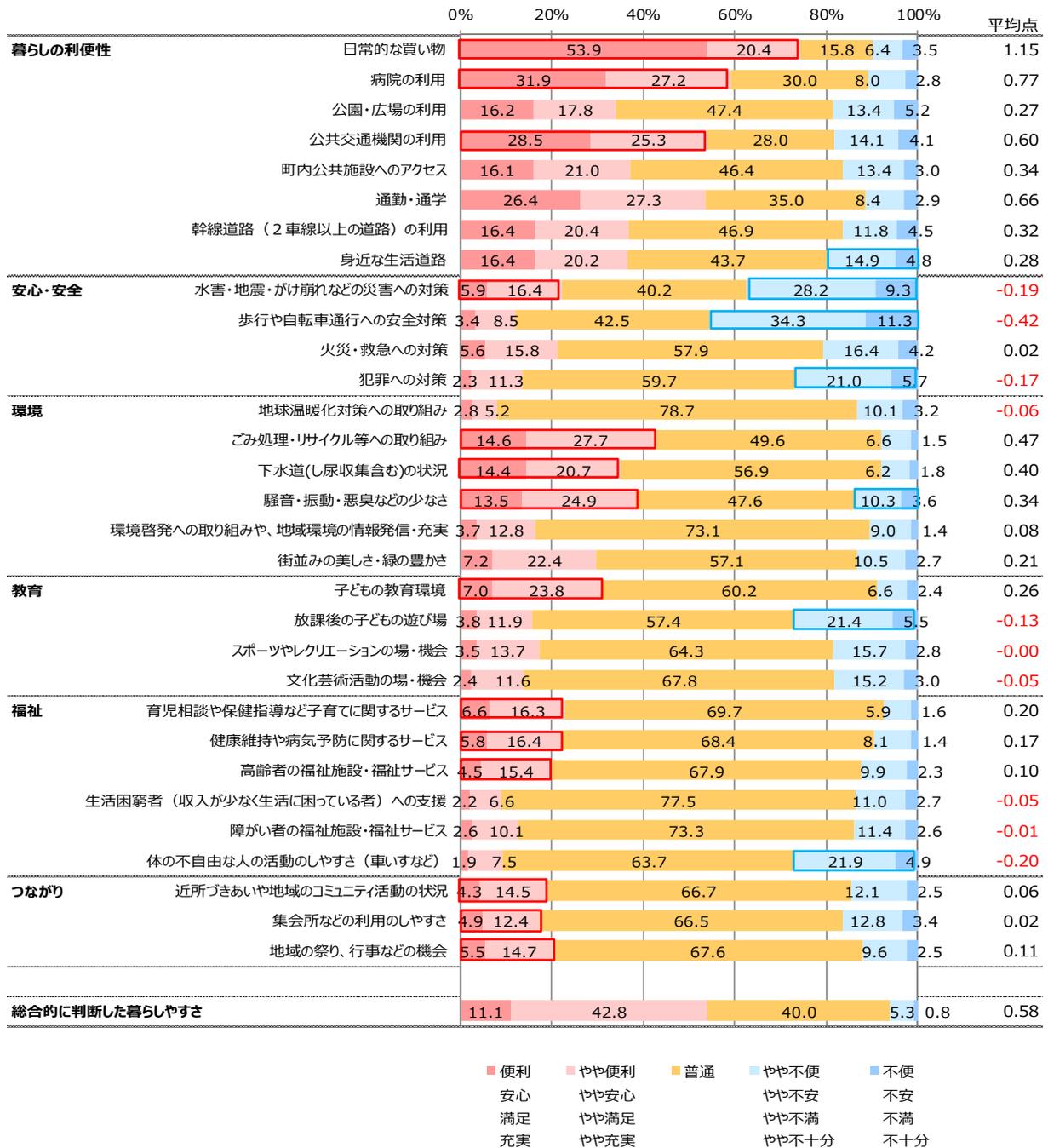
●福祉

- 『満足』では、「育児相談や保健指導など子育てに関するサービス」22.9%、「健康維持や病気予防に関するサービス」22.2%、「高齢者の福祉施設・福祉サービス」19.9%が同程度となっています。
- 一方、『不満』は、「体の不自由な人の活動のしやすさ（車いすなど）」の26.8%が突出しています。

●つながり

- 『満足』も『不満』も3項目が同程度となっています。
- 『満足』は、「地域の祭り、行事などの機会」20.2%、次いで「近所づきあいや地域のコミュニティ活動の状況」18.8%、「集会所などの利用のしやすさ」17.3%となっています。

満足=+2点、やや満足=+1点、普通=0点、やや不満=-1点、不満=-2点として5項目の回答者の平均点を算出し、点が高いほど満足側に評価されている。



●年齢別の満足度

- 「日常的な買い物」の満足度は、75歳以上を除く20歳～74歳が高くなっています。75歳以上では、移動の難しさが評価を下げる原因となっていることが伺えます。
- その他の項目では、「病院の利用」が30歳～39歳で0.97、「公共交通機関の利用」が20歳～29歳で0.93、「通勤・通学」が20歳～29歳で1.09と高くなっています。
- 一方、全年代で「水害・地震・がけ崩れなどの災害への対策」、「歩行や自転車通行への安全対策」、「犯罪への対策」、「放課後の子どもの遊び場」などの満足度は低くなっています。

		20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～69歳	70歳 ～74歳	75歳 以上
暮らしの利便性	日常的な買い物	1.28	1.42	1.34	1.27	1.23	0.98	0.69
	病院の利用	0.79	0.97	0.81	0.80	0.81	0.70	0.58
	公園・広場の利用	0.32	0.35	0.36	0.23	0.28	0.21	0.13
	公共交通機関の利用	0.93	0.69	0.58	0.68	0.62	0.58	0.38
	町内公共施設へのアクセス	0.64	0.60	0.52	0.32	0.31	0.13	0.02
	通勤・通学	1.09	0.81	0.62	0.75	0.63	0.52	0.33
	幹線道路（2車線以上の道路）の利用	0.32	0.36	0.36	0.34	0.44	0.16	0.20
	身近な生活道路	0.31	0.23	0.22	0.26	0.38	0.21	0.33
安全・安心	水害・地震・がけ崩れなどの災害への対策	-0.16	-0.29	-0.32	-0.24	-0.18	-0.05	-0.02
	歩行や自転車通行への安全対策	-0.36	-0.53	-0.58	-0.43	-0.41	-0.41	-0.18
	火災・救急への対策	0.07	-0.03	-0.06	-0.01	0.02	0.05	0.15
	犯罪への対策	-0.09	-0.23	-0.19	-0.17	-0.20	-0.18	-0.06
環境	地球温暖化対策への取り組み	0.14	-0.03	-0.07	-0.10	-0.12	-0.08	-0.01
	ごみ処理・リサイクル等への取り組み	0.62	0.61	0.33	0.43	0.36	0.50	0.58
	下水道（し尿収集含む）の状況	0.28	0.35	0.21	0.23	0.48	0.55	0.60
	騒音・振動・悪臭などの少なさ	0.05	0.33	0.23	0.30	0.36	0.42	0.50
	環境啓発への取り組みや、地域環境の情報発信・充実	0.07	0.19	0.07	0.05	0.01	0.03	0.14
	【新規】街並みの美しさ・緑の豊かさ	0.38	0.33	0.24	0.08	0.08	0.22	0.26
教育	子どもの教育環境	0.32	0.41	0.28	0.19	0.19	0.22	0.27
	放課後の子どもの遊び場	-0.03	-0.04	-0.15	-0.19	-0.18	-0.21	-0.08
	スポーツやレクリエーションの場・機会	0.07	0.10	0.04	-0.09	-0.11	-0.05	0.03
	文化芸術活動の場・機会	0.06	0.01	-0.01	-0.13	-0.16	-0.14	0.07
福祉	育児相談や保健指導など子育てに関するサービス	0.40	0.53	0.22	0.09	0.04	0.08	0.15
	【新規】健康維持や病気予防に関するサービス	0.14	0.23	0.18	0.07	0.04	0.23	0.32
	高齢者の福祉施設・福祉サービス	0.15	0.21	0.12	0.05	0.01	-0.01	0.16
	【新規】生活困窮者への支援	-0.03	0.05	0.03	-0.07	-0.19	-0.14	-0.04
	障がい者の福祉施設・福祉サービス	0.04	0.07	0.05	0.00	-0.14	-0.10	0.01
	体の不自由な人の活動のしやすさ（車いすなど）	0.06	-0.13	-0.16	-0.26	-0.31	-0.34	-0.17
つながり	近所づきあいや地域のコミュニティ活動の状況	0.04	0.16	0.11	-0.07	-0.04	0.07	0.13
	集会所などの利用のしやすさ	-0.01	0.10	-0.03	-0.09	-0.07	0.05	0.19
	地域の祭り、行事などの機会	0.12	0.24	0.13	0.00	0.01	0.03	0.21
総合的に判断した暮らしやすさ		0.84	0.76	0.69	0.58	0.48	0.45	0.46

●前回調査との比較

- ▶前回調査と比べて満足度が高くなった項目は、「日常的な買い物」+0.08、「火災・救急への対策」+0.05 などとなっています。
- ▶一方、前回より低くなった項目は「ごみ処理・リサイクル等への取り組み」が-0.21 と大きく、それに次いで「幹線道路（2車線以上の道路）の利用」と「歩行や自転車通行への安全対策」がどちらも-0.16 となっています。

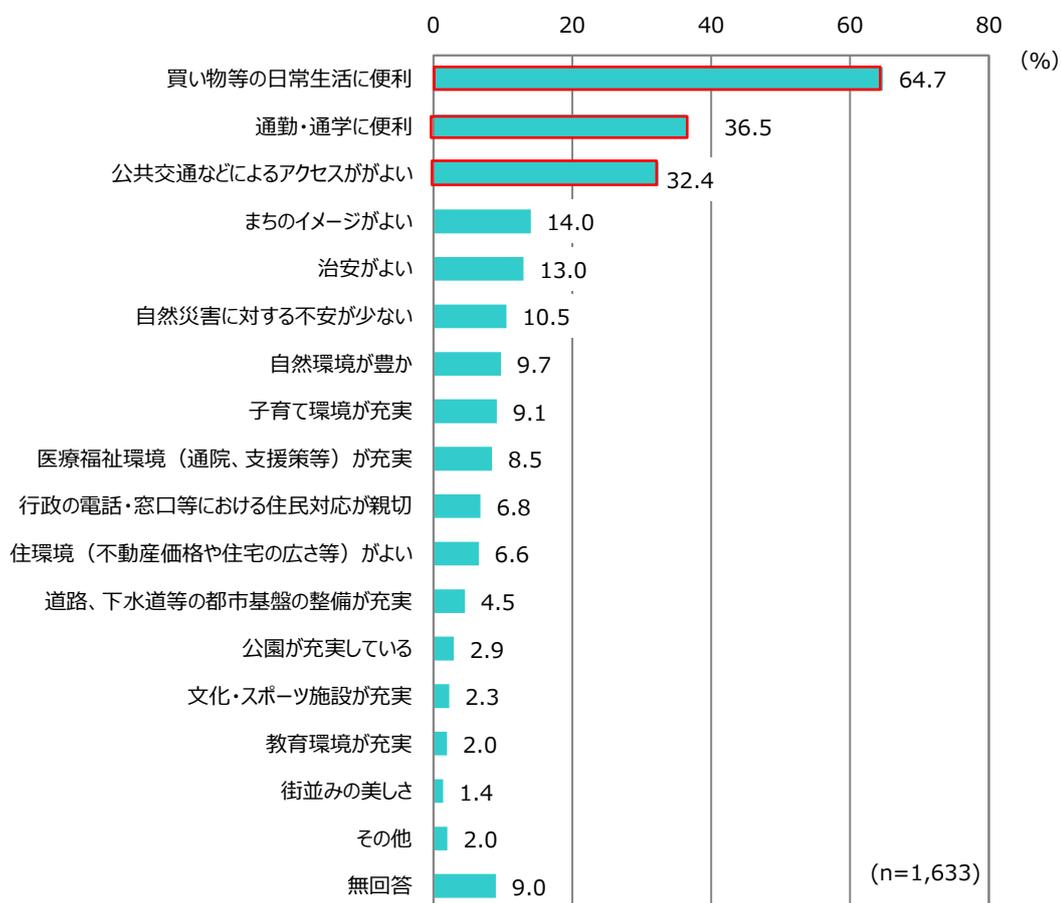
※第4次総合計画策定時に実施した調査（平成26年度）との比較

満足=+2点、やや満足=+1点、普通=0点、やや不満=-1点、不満=-2点
 として5項目の回答者の平均点を算出し、点が高いほど満足側に評価されている。
 平成26（2014）年調査（第4次総合計画策定前時点）と比較している。

		-1.50	-1.00	-0.50	0.00	0.50	1.00	1.50	前回	今回
暮らしの利便性	日常的な買い物					0.08			1.07	1.15
	病院の利用			-0.14					0.91	0.77
	公園・広場の利用			-0.06					0.33	0.27
	公共交通機関の利用			-0.09					0.69	0.60
	町内公共施設へのアクセス			-0.06					0.40	0.34
	通勤・通学				0.00				0.66	0.66
	幹線道路（2車線以上の道路）の利用			-0.16					0.48	0.32
	身近な生活道路			-0.10					0.38	0.28
安心・安全	水害・地震・がけ崩れなどの災害への対策			-0.12					-0.07	-0.19
	歩行や自転車通行への安全対策			-0.16					-0.26	-0.42
	火災・救急への対策				0.05				-0.03	0.02
	犯罪への対策			-0.08					-0.09	-0.17
環境	地球温暖化対策への取り組み			-0.11					0.05	-0.06
	ごみ処理・リサイクル等への取り組み			-0.21					0.68	0.47
	下水道（し尿収集含む）の状況			-0.08					0.48	0.40
	騒音・振動・悪臭などの少なさ			-0.06					0.40	0.34
	環境啓発への取り組みや、地域環境の情報発信・充実			-0.09					0.17	0.08
	【新規】街並みの美しさ・緑の豊かさ								-	0.21
教育	子どもの教育環境			-0.09					0.35	0.26
	放課後の子どもの遊び場			-0.01					-0.12	-0.13
	スポーツやレクリエーションの場・機会			-0.08					0.08	0.00
	文化芸術活動の場・機会			-0.10					0.05	-0.05
福祉	育児相談や保健指導など子育てに関するサービス			-0.04					0.24	0.20
	【新規】健康維持や病気予防に関するサービス								-	0.17
	高齢者の福祉施設・福祉サービス			-0.12					0.22	0.10
	【新規】生活困窮者への支援								-	-0.05
	障がい者の福祉施設・福祉サービス			-0.13					0.12	-0.01
	体の不自由な人の活動のしやすさ（車いすなど）			-0.03					-0.17	-0.20
つながり	近所づきあいや地域のコミュニティ活動の状況			-0.09					0.15	0.06
	集会所などの利用のしやすさ			-0.07					0.09	0.02
	地域の祭り、行事などの機会			-0.06					0.17	0.11
総合的に判断した暮らしやすさ				-0.01					0.59	0.58

問 10 府中町の魅力的な点（よい点など）があればお聞かせください。

➤府中の魅力的な点としては、「買い物等の日常生活に便利」が 64.7%と突出しています。
 ➤その他では、「通勤・通学に便利」36.5%、「公共交通などによるアクセスがよい」32.4%が 30%を超えています。



●年齢別

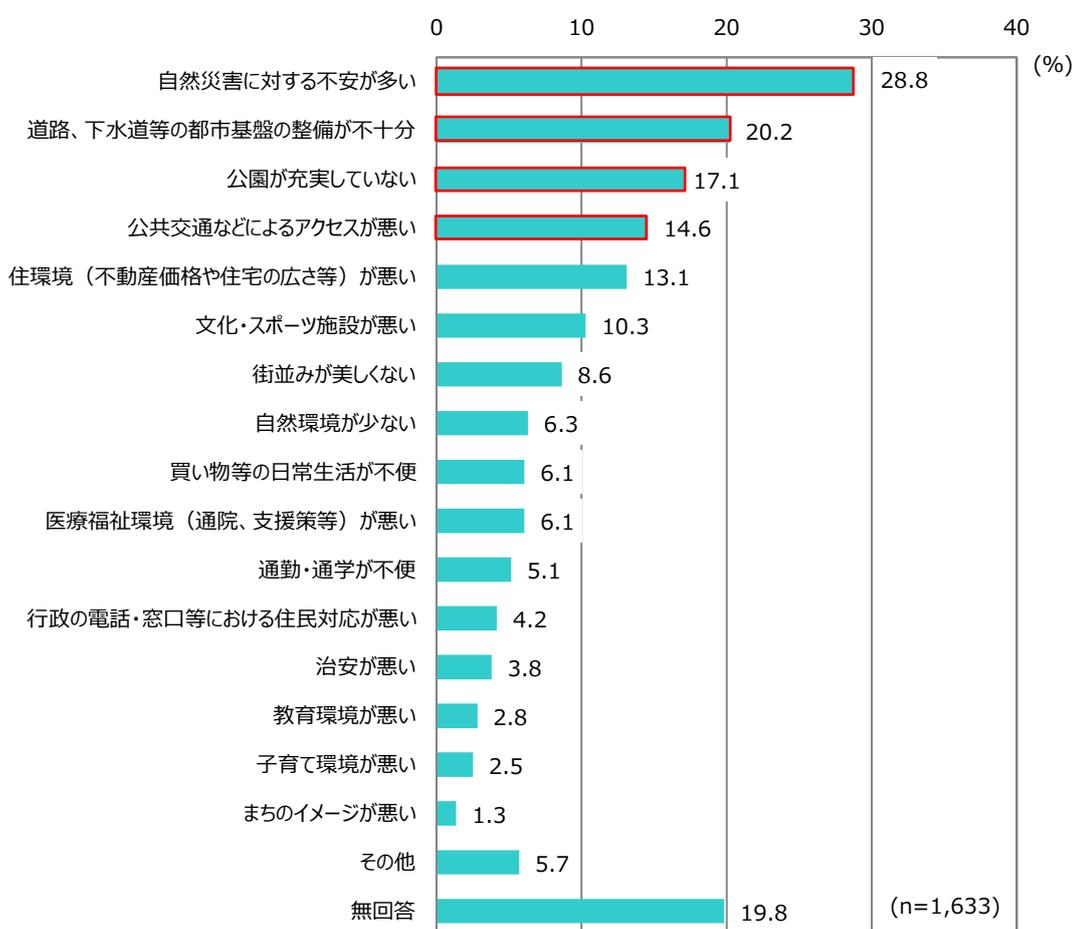
- ▶全年代で「買い物等の日常生活に便利」、「通勤・通学に便利」、および「公共交通などによるアクセスがよい」の3項目の指摘が多くなっています。
- ▶また20歳～39歳では、「子育て環境が充実」の指摘が多くなっています。
- ▶年齢が高くなるにつれて「自然災害に対する不安が少ない」、「自然環境が豊か」の指摘が多くなる傾向がみられます。

※各年代別に最大値項目から順に色付け。

	全体	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	無回答
買い物等の日常生活に便利	64.7%	64.5%	74.4%	71.3%	75.0%	65.1%	59.5%	48.1%	42.9%
通勤・通学に便利	36.5%	50.0%	40.7%	47.7%	58.2%	39.3%	19.0%	12.0%	57.1%
公共交通などによるアクセスがよい	32.4%	26.3%	30.9%	34.1%	40.2%	35.6%	38.0%	22.6%	28.6%
まちのイメージがよい	14.0%	13.2%	12.6%	16.7%	11.1%	16.8%	11.7%	13.8%	28.6%
治安がよい	13.0%	7.9%	9.3%	10.9%	10.2%	12.8%	15.3%	19.4%	14.3%
自然災害に対する不安が少ない	10.5%	1.3%	4.9%	4.7%	7.4%	10.4%	18.4%	19.4%	28.6%
自然環境が豊か	9.7%	3.9%	5.3%	8.1%	6.6%	12.1%	16.6%	12.6%	0.0%
子育て環境が充実	9.1%	21.1%	28.5%	10.9%	3.7%	3.7%	3.1%	2.6%	14.3%
医療福祉環境（通院、支援策等）が充実	8.5%	5.3%	6.5%	3.9%	3.7%	7.7%	14.1%	15.5%	0.0%
行政の電話・窓口等における住民対応が親切	6.8%	2.6%	2.0%	1.2%	1.2%	5.0%	16.0%	16.4%	14.3%
住環境（不動産価格や住宅の広さ等）がよい	6.6%	6.6%	6.5%	8.5%	5.7%	7.7%	4.3%	5.9%	0.0%
道路、下水道等の都市基盤の整備が充実	4.5%	1.3%	0.4%	0.8%	2.5%	4.7%	8.6%	10.6%	0.0%
公園が充実している	2.9%	1.3%	2.4%	1.6%	1.2%	4.0%	3.7%	4.7%	0.0%
文化・スポーツ施設が充実	2.3%	2.6%	1.2%	0.0%	2.0%	3.0%	1.8%	4.1%	14.3%
教育環境が充実	2.0%	1.3%	2.4%	3.1%	1.6%	1.7%	1.8%	1.5%	0.0%
街並みの美しさ	1.4%	1.3%	0.8%	0.8%	1.6%	2.0%	0.6%	1.8%	14.3%
その他	2.0%	10.5%	2.4%	1.6%	2.5%	1.0%	1.8%	0.9%	0.0%
無回答	9.0%	7.9%	8.1%	8.9%	6.1%	8.1%	7.4%	13.5%	14.3%
回答者数計	1633	76	246	258	244	298	163	341	7

問 11 府中町のよくない点があればお聞かせください。

- 府中町のよくない点としては、「自然災害に対する不安が多い」が 28.8%と最も多くなっています。これは平成 30 年 7 月に発生した豪雨災害の影響があるものと考えられます。
- それに次いで、「道路、下水道等の都市基盤の整備が不十分」が 20.2%、「公園が充実していない」が 17.1%などのインフラ整備に対する指摘が多くなっています。
- 「公共交通などのアクセスが悪い」については、よい点でも上位に挙がっていましたが、よくない点でも 4 番目の 14.6%となっています。地域によって公共交通の利便性の差があることが理由として考えられます。



●年齢別

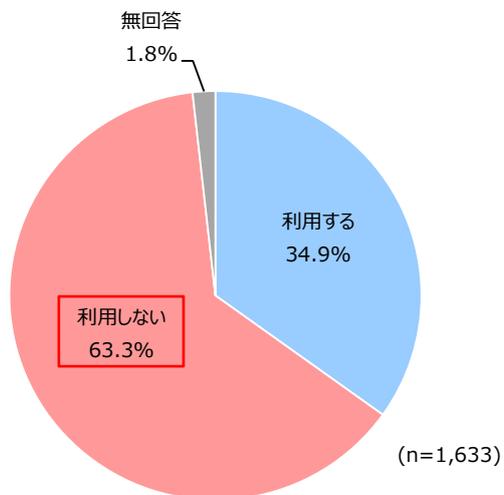
- 全年代で、「自然災害に対する不安が多い」、「道路、下水道等の都市基盤の整備が不十分」、「公園が充実していない」、「公共交通などによるアクセスが悪い」などの指摘が多くなっています。
- 一方、「子育て環境が悪い」、「まちのイメージが悪い」は全年代で少なくなっています。

※各年代別に最大値項目から順に色付け。

	全体	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	無回答
自然災害に対する不安が多い	28.8%	23.7%	31.7%	29.8%	32.4%	30.2%	27.0%	23.8%	42.9%
道路、下水道等の都市基盤の整備が不十分	20.2%	23.7%	19.5%	21.3%	23.4%	19.1%	19.6%	18.5%	0.0%
公園が充実していない	17.1%	14.5%	28.9%	18.2%	12.7%	16.4%	16.6%	12.6%	14.3%
公共交通などによるアクセスが悪い	14.6%	13.2%	13.8%	15.9%	11.9%	12.8%	14.7%	17.9%	14.3%
住環境（不動産価格や住宅の広さ等）が悪い	13.1%	19.7%	24.0%	16.3%	12.7%	11.1%	9.2%	5.0%	28.6%
文化・スポーツ施設が悪い	10.3%	11.8%	8.5%	9.3%	6.6%	14.4%	12.9%	9.4%	28.6%
街並みが美しくない	8.6%	6.6%	6.5%	9.3%	13.1%	10.1%	6.1%	7.0%	0.0%
自然環境が少ない	6.3%	5.3%	5.3%	1.9%	7.0%	6.0%	9.8%	8.8%	0.0%
買い物等の日常生活が不便	6.1%	1.3%	2.0%	3.9%	2.0%	5.4%	7.4%	14.4%	14.3%
医療福祉環境（通院、支援策等）が悪い	6.1%	7.9%	2.4%	7.4%	4.5%	7.4%	6.1%	7.3%	0.0%
通勤・通学が不便	5.1%	5.3%	6.5%	7.8%	4.5%	6.7%	3.1%	2.3%	0.0%
行政の電話・窓口等における住民対応が悪い	4.2%	1.3%	3.3%	4.3%	3.3%	6.7%	3.1%	4.1%	14.3%
治安が悪い	3.8%	6.6%	4.5%	7.0%	4.1%	2.0%	2.5%	2.3%	0.0%
教育環境が悪い	2.8%	1.3%	3.3%	6.2%	4.5%	1.7%	1.8%	0.3%	14.3%
子育て環境が悪い	2.5%	3.9%	4.9%	3.9%	2.9%	2.0%	0.6%	0.3%	14.3%
まちのイメージが悪い	1.3%	1.3%	0.4%	2.3%	2.5%	0.3%	2.5%	0.9%	0.0%
その他	5.7%	7.9%	8.5%	5.8%	4.1%	4.0%	6.7%	5.0%	14.3%
無回答	19.8%	17.1%	12.6%	15.1%	17.6%	19.1%	22.7%	30.2%	14.3%
回答者数計	1633	76	246	258	244	298	163	341	7

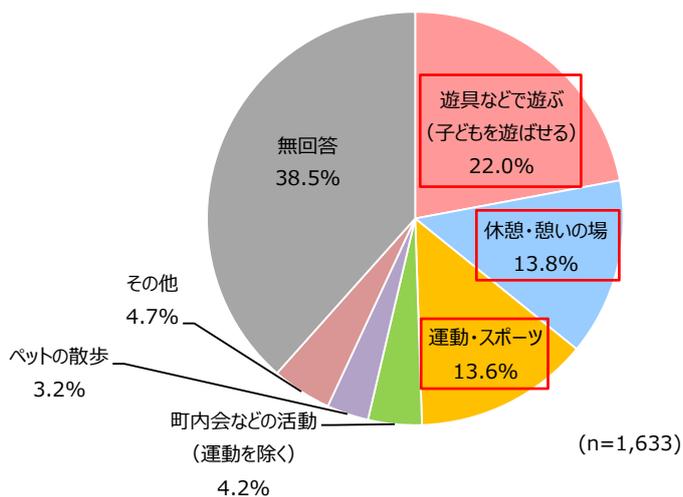
問 12 あなたは町内の公園を利用しますか。

➤公園の利用については、「利用しない」が63.3%となっています。



問 13 公園の主な利用目的をお聞かせください。

➤利用目的としては、「遊具などで遊ぶ（子どもを遊ばせる）」が22.0%と多く、それに次いで「休憩・憩いの場」が13.8%、「運動・スポーツ」が13.6%となっています。

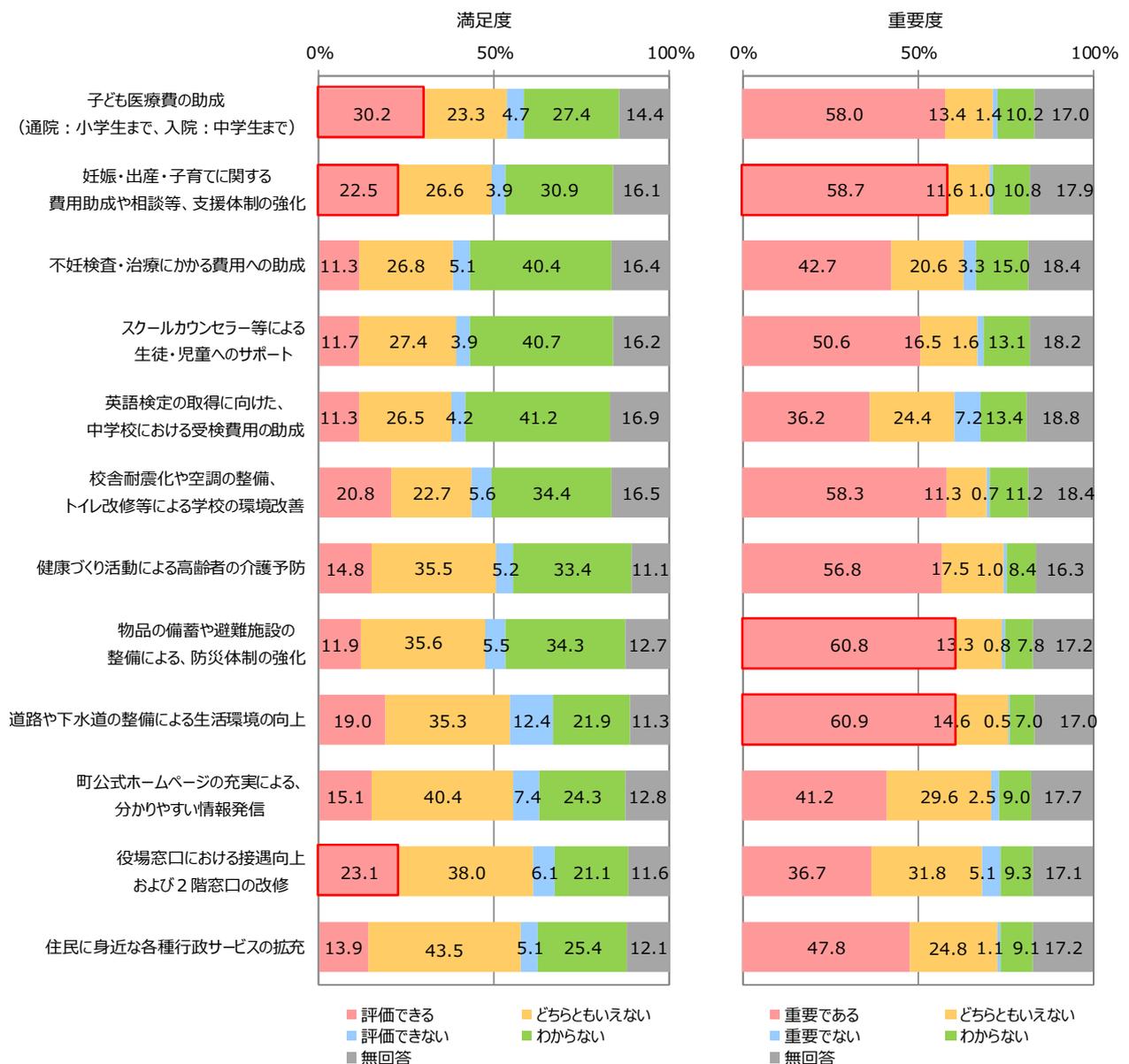


問 14 府中町では、「住んでよかった、これからも住み続けたい、住んでみたい」と実感できるまちの実現のため、「広島都市圏で一番の子育てしやすいまち」「志を育む教育のまち」「バランスのとれた行政施策」の各分野において、以下のような施策を展開しています。これらの施策について、現時点でのあなたの評価をお聞かせください。また、今後の取り組みにおける重要性について、あなたのお考えをお聞かせください。

●現時点での評価（満足度）と今後の重要性（重要度）

➤施策への評価（満足度）については、「子ども医療費の助成（通院：小学生まで、入院：中学生まで）」が 30.2%と最も多く、次いで「役場窓口における接遇向上および2階窓口の改修」が 23.1%、「妊娠・出産・子育てに関する費用助成や相談等、支援体制の強化」が 22.5%となっています。

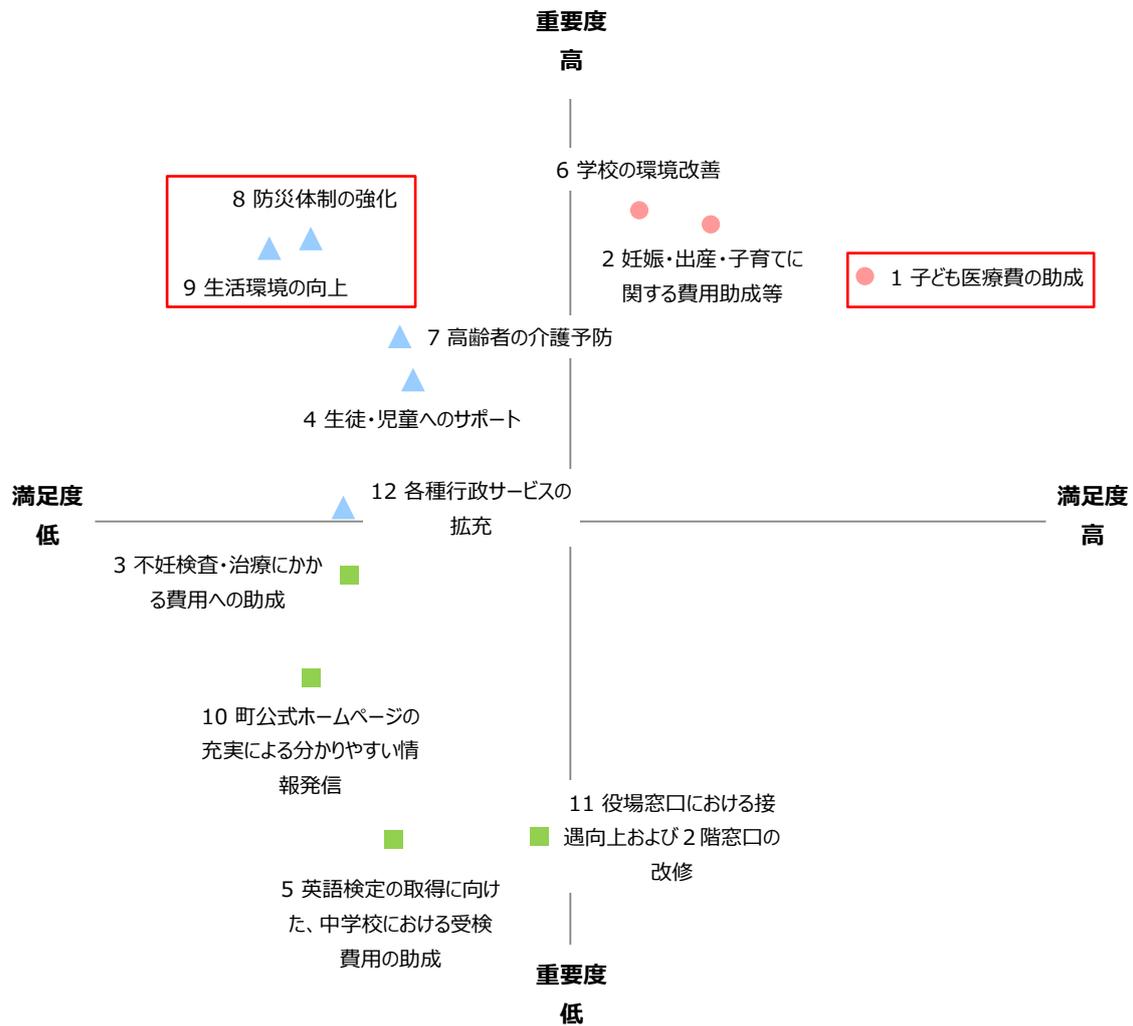
➤一方、今後の重要性（重要度）については、「道路や下水道の整備による生活環境の向上」が 60.9%と最も多く、次いで「物品の備蓄や避難施設の整備による、防災体制の強化」が 60.8%、「妊娠・出産・子育てに関する費用助成や相談等、支援体制の強化」が 58.7%となっています。



●施策の相対評価

- 施策の相対評価では、「1 子ども医療費の助成」が満足度、重要度が共に高く、町民のニーズに応じたサービスが提供できていると考えられます。
- しかし「8 防災体制の強化」、「9 生活環境の向上」については、重要度が高いのに満足度は低く、ニーズに対してサービスが十分でない状況が伺えます。

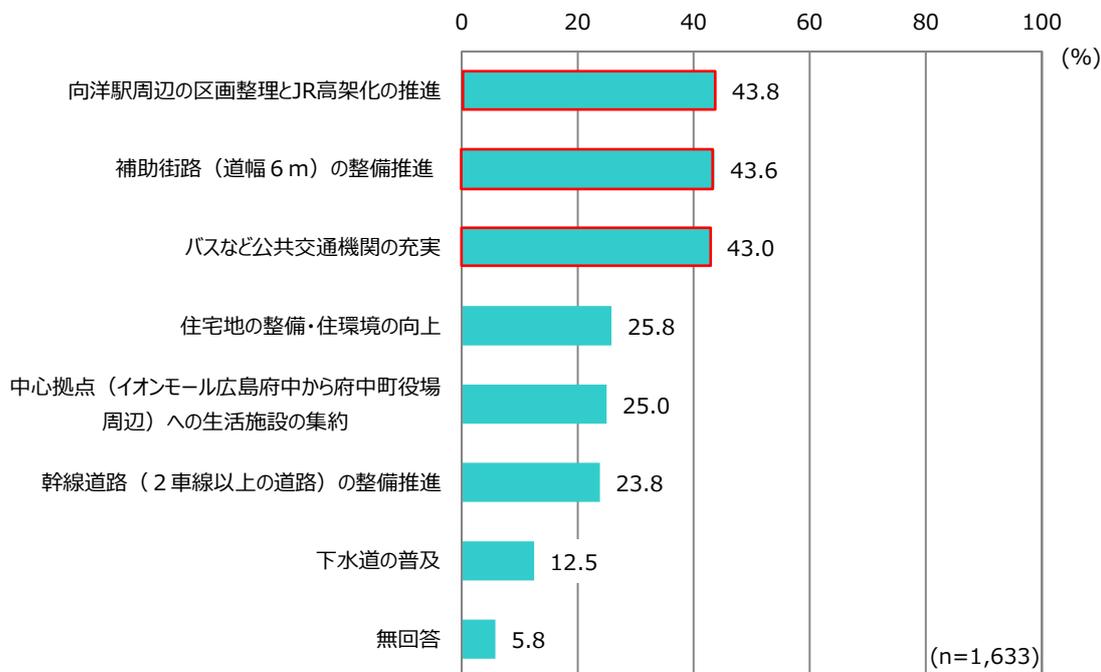
※「わからない」「無回答」の回答を省き、評価できる=+10点、どちらともいえない=0点、評価できない=-10点として施策の満足度・重要度を相対評価



問 15 府中町のそれぞれの行政施策分野の中で、重点的に取り組むべきだと思うものは何ですか。

①生活利便の分野

➤生活利便の分野では、「向洋駅周辺の区画整理と JR 高架化の推進」43.8%、「補助街路（道幅6m）の整備推進」43.6%、「バスなど公共交通機関の充実」43.0%の3項目が突出しています。



●年齢別

➤全年代で、「向洋駅周辺の区画整備とJR高架化の推進」、「補助街路（道幅6m）の整備推進」および「バスなど公共交通機関の充実」が多くなっています。

➤年齢別で特徴的なものとしては、20歳～29歳では「中心拠点（イオンモール広島府中から府中町役場周辺）への生活施設の集約」が多く、30歳～39歳では「住宅地の整備・住環境の向上」が多くなっています。

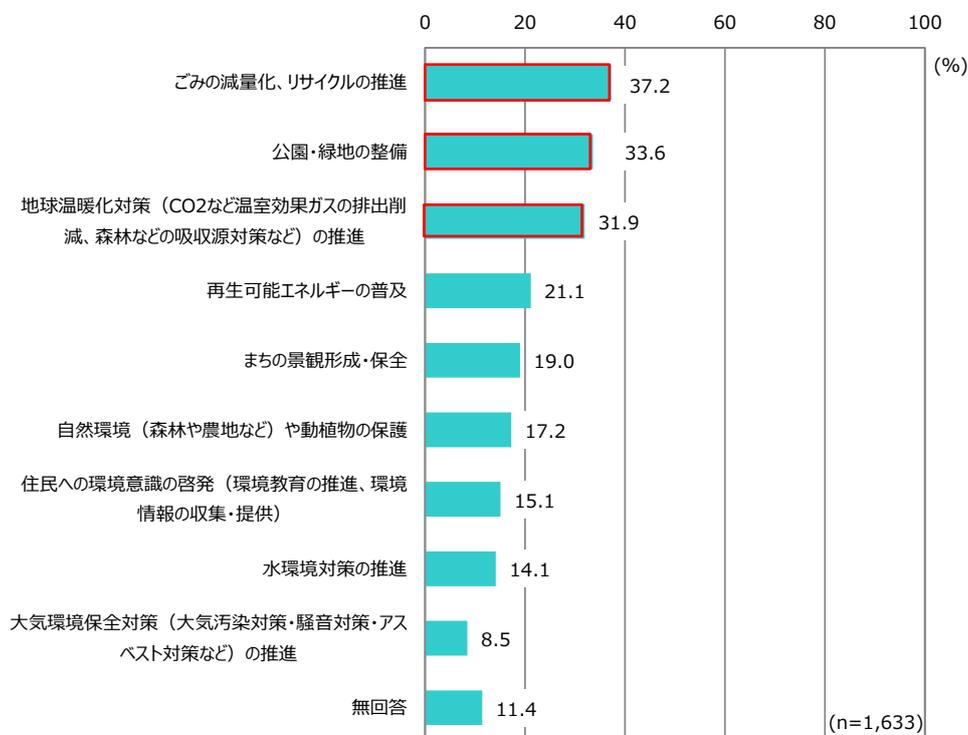
➤「下水道の普及」については、全年代で指摘される割合が少なくなっています。

※各年代別に最大値項目から順に色付け。

	全体	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	無回答	
生活利便の分野	向洋駅周辺の区画整理とJR高架化の推進	43.8%	42.1%	40.7%	49.2%	52.0%	47.7%	41.7%	34.6%	28.6%
	補助街路（道幅6m）の整備推進	43.6%	46.1%	50.0%	46.1%	50.4%	44.0%	39.9%	32.8%	57.1%
	バスなど公共交通機関の充実	43.0%	35.5%	43.5%	43.0%	38.5%	48.3%	37.4%	45.7%	28.6%
	住宅地の整備・住環境の向上	25.8%	30.3%	35.0%	27.9%	25.4%	25.5%	24.5%	18.5%	0.0%
	中心拠点（イオンモール広島府中から府中町役場周辺）への生活施設の集約	25.0%	35.5%	26.8%	25.2%	21.3%	22.8%	28.8%	23.8%	28.6%
	幹線道路（2車線以上の道路）の整備推進	23.8%	26.3%	24.0%	27.5%	26.2%	21.1%	25.8%	19.9%	28.6%
	下水道の普及	12.5%	13.2%	8.1%	11.6%	13.1%	16.1%	9.8%	14.1%	0.0%
	無回答	5.8%	3.9%	2.8%	2.3%	1.2%	3.7%	11.7%	12.9%	28.6%
	回答者数計	1633	76	246	258	244	298	163	341	7

②環境保全の分野

➤環境保全の分野では、「ごみの減量化、リサイクルの推進」、「公園・緑地の整備」および「地球温暖化対策の推進」が30%を超えて多くなっています。



●年齢別

➤全年代で「ごみの減量化、リサイクルの推進」が多く、20歳～74歳の間では年齢が高くなるにつれて割合が増加する傾向にあります。

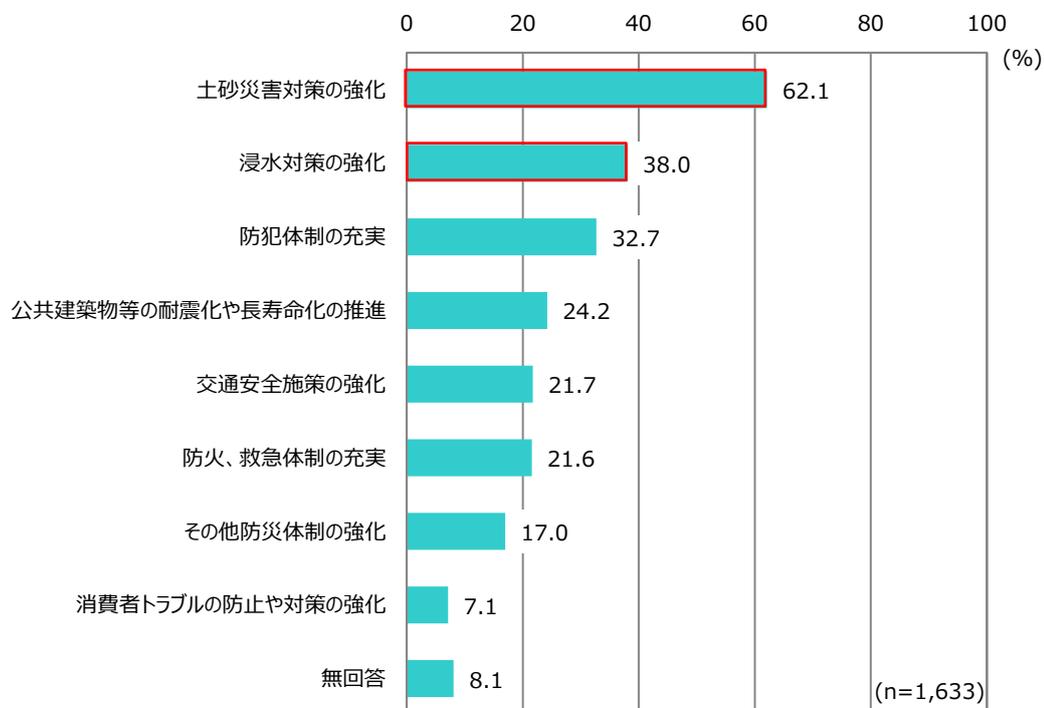
➤また、全年代で「公園・緑地の整備」が多く、特に30歳～39歳で多くなっています。

※各年代別に最大値項目から順に色付け。

		全体	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	無回答
環境保全の分野	ごみの減量化、リサイクルの推進	37.2%	25.0%	30.5%	36.8%	40.6%	40.6%	46.6%	35.5%	28.6%
	公園・緑地の整備	33.6%	42.1%	55.7%	43.4%	29.1%	29.5%	23.3%	19.9%	28.6%
	地球温暖化対策（CO2など温室効果ガスの排出削減、森林などの吸収源対策など）の推進	31.9%	28.9%	24.4%	32.2%	34.8%	30.9%	33.7%	36.1%	14.3%
	再生可能エネルギーの普及	21.1%	10.5%	20.7%	23.3%	24.6%	25.8%	20.9%	15.5%	28.6%
	まちの景観形成・保全	19.0%	25.0%	25.6%	21.3%	22.1%	17.1%	12.9%	13.5%	14.3%
	自然環境（森林や農地など）や動植物の保護	17.2%	19.7%	20.7%	16.7%	16.4%	18.1%	17.8%	14.1%	14.3%
	住民への環境意識の啓発（環境教育の推進、環境情報の収集・提供）	15.1%	13.2%	10.6%	13.2%	16.8%	18.5%	16.0%	15.5%	14.3%
	水環境対策の推進	14.1%	15.8%	13.8%	19.8%	15.2%	13.1%	8.6%	12.3%	28.6%
	大気環境保全対策（大気汚染対策・騒音対策・アスベスト対策など）の推進	8.5%	10.5%	8.9%	8.9%	8.2%	8.1%	6.7%	8.8%	0.0%
	無回答	11.4%	6.6%	6.1%	4.7%	7.0%	9.4%	14.1%	24.9%	14.3%
回答者数計		1633	76	246	258	244	298	163	341	7

③安心・安全の分野

- 安心・安全の分野では、「土砂災害対策の強化」が62.1%と突出しています。
- それに次いで「浸水対策の強化」38.0%があがり、防災・減災に対する関心の高さが伺えます。



●年齢別

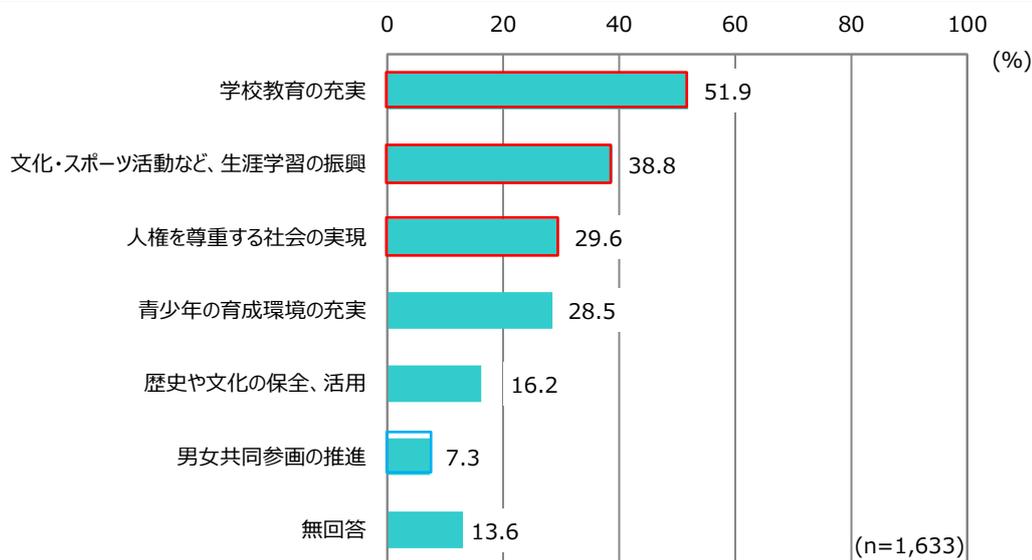
- 全年代で「土砂災害対策の強化」が多くなっています。
- 年齢別の特徴としては、20歳～49歳では「浸水対策の強化」が多く、20歳～29歳では「交通安全施策の強化」が多くなっています。

※各年代別に最大値項目から順に色付け。

	全体	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	無回答	
安全・安心の分野	土砂災害対策の強化	62.1%	60.5%	74.0%	71.7%	71.7%	61.7%	51.5%	45.5%	42.9%
	浸水対策の強化	38.0%	44.7%	48.8%	48.4%	39.8%	36.2%	28.2%	25.5%	57.1%
	防犯体制の充実	32.7%	28.9%	36.6%	36.8%	36.5%	29.2%	34.4%	27.3%	28.6%
	公共建築物等の耐震化や長寿命化の推進	24.2%	18.4%	30.9%	25.6%	25.8%	20.8%	21.5%	22.6%	28.6%
	交通安全施策の強化	21.7%	35.5%	27.2%	22.9%	21.3%	21.8%	19.6%	15.5%	0.0%
	防火、救急体制の充実	21.6%	13.2%	15.0%	23.6%	17.6%	26.5%	26.4%	22.9%	14.3%
	その他防災体制の強化	17.0%	11.8%	13.0%	16.7%	15.6%	20.8%	18.4%	17.9%	28.6%
	消費者トラブルの防止や対策の強化	7.1%	6.6%	5.3%	4.7%	7.0%	6.7%	13.5%	7.9%	0.0%
	無回答	8.1%	5.3%	4.1%	3.1%	3.3%	6.7%	9.8%	18.8%	28.6%
	回答者数計	1633	76	246	258	244	298	163	341	7

④教育の分野

- 教育の分野では、「学校教育の充実」が51.9%と最も多く、次いで「文化・スポーツ活動など、生涯学習の振興」が38.8%、「人権を尊重する社会の実現」が29.6%となっています。
- 「男女共同参画の推進」は7.3%と低くなっています。



●年齢別

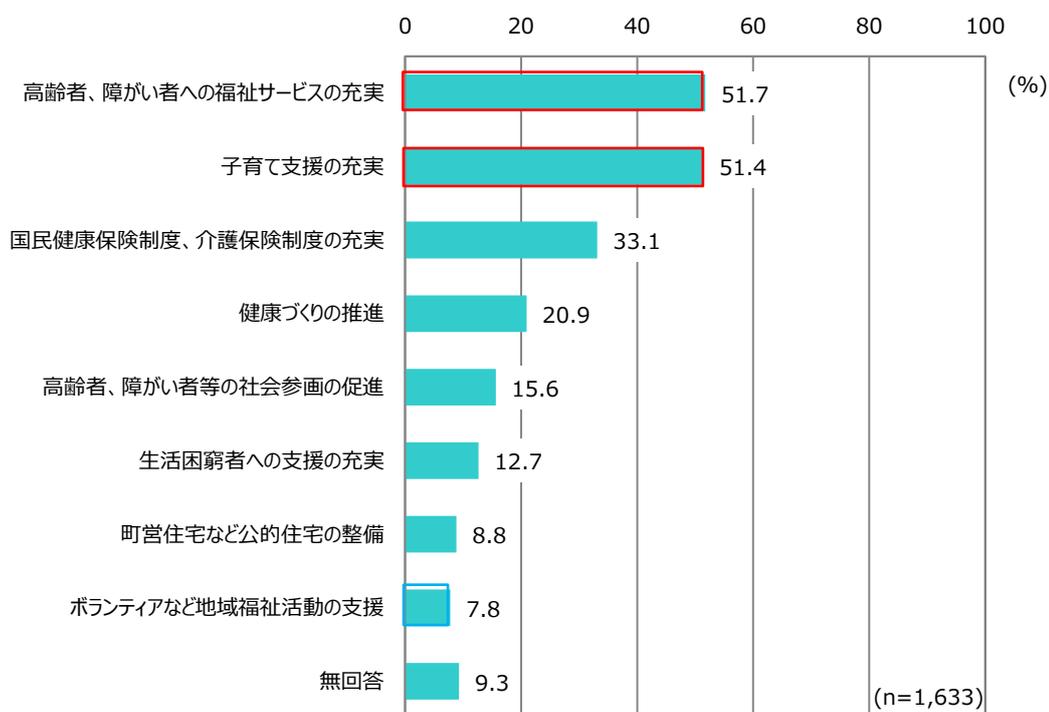
- 年齢別に比較すると、30歳～49歳では「学校教育の充実」が多くなっています。
- 20歳～29歳では「人権を尊重する社会の実現」と「男女共同参画の推進」が多くなっています。

※各年代別に最大値項目から順に色付け。

		全体	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	無回答
教育の分野	学校教育の充実	51.9%	55.3%	76.4%	70.9%	55.3%	44.3%	34.4%	32.0%	28.6%
	文化・スポーツ活動など、生涯学習の振興	38.8%	46.1%	44.7%	44.2%	40.6%	40.9%	38.0%	25.8%	57.1%
	人権を尊重する社会の実現	29.6%	40.8%	23.2%	23.3%	29.1%	33.9%	30.7%	33.1%	0.0%
	青少年の育成環境の充実	28.5%	15.8%	28.9%	32.6%	27.5%	29.9%	25.8%	28.7%	28.6%
	歴史や文化の保全、活用	16.2%	13.2%	12.6%	17.1%	16.8%	17.8%	20.9%	14.7%	28.6%
	男女共同参画の推進	7.3%	21.1%	4.5%	8.1%	9.4%	7.0%	7.4%	4.7%	0.0%
	無回答	13.6%	7.9%	5.7%	4.3%	7.8%	11.7%	17.8%	31.1%	28.6%
回答者数計		1633	76	246	258	244	298	163	341	7

⑤保健・福祉の分野

- 保健・福祉の分野では、「高齢者、障がい者への福祉サービスの充実」51.7%と「子育て支援の充実」51.4%が突出しています。これらは日常生活において、最も身近な問題として認識されていると考えられます。
- それに対し「ボランティアなど地域福祉活動の支援」は7.8%と低く、身近なテーマとして定着していないことが伺えます。



●年齢別

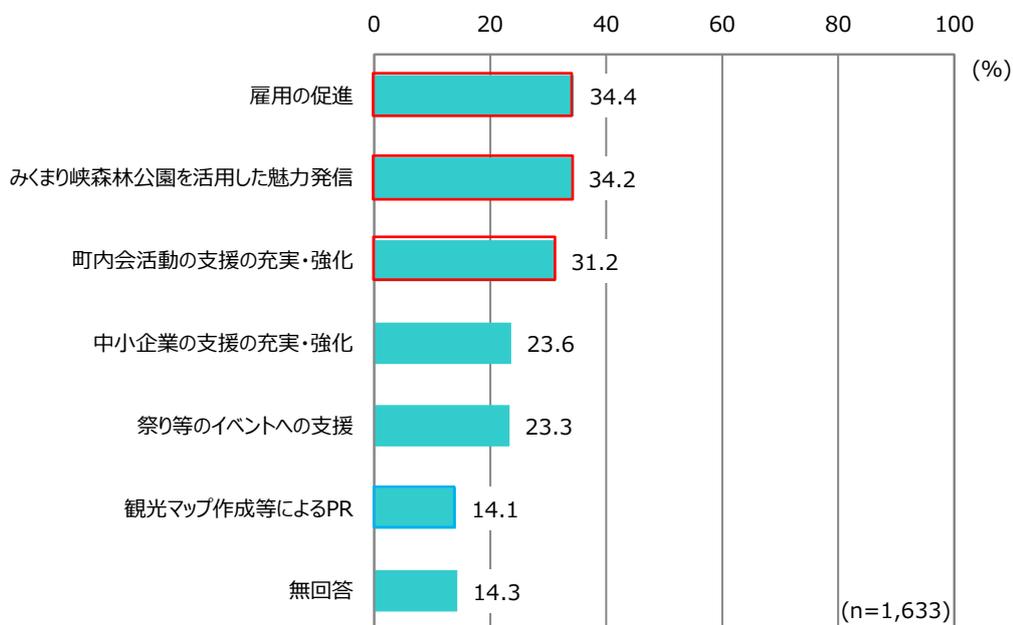
- 年齢別に比較すると、30歳以上で「高齢者、障がい者への福祉サービスの充実」の割合が多くなっています。
- 20歳～49歳では「子育て支援の充実」も多くなっています。

※各年代別に最大値項目から順に色付け。

		全体	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	無回答
保健・福祉の分野	高齢者、障がい者への福祉サービスの充実	51.7%	25.0%	45.5%	53.1%	57.0%	54.4%	54.6%	53.7%	57.1%
	子育て支援の充実	51.4%	69.7%	83.3%	70.2%	56.6%	42.6%	31.9%	23.5%	42.9%
	国民健康保険制度、介護保険制度の充実	33.1%	22.4%	26.8%	38.0%	30.3%	32.2%	36.8%	37.5%	28.6%
	健康づくりの推進	20.9%	26.3%	23.2%	16.7%	19.3%	24.5%	23.3%	18.5%	14.3%
	高齢者、障がい者等の社会参画の促進	15.6%	11.8%	8.1%	15.9%	19.7%	19.8%	14.1%	15.8%	14.3%
	生活困窮者への支援の充実	12.7%	18.4%	11.8%	11.2%	10.2%	17.1%	10.4%	12.3%	0.0%
	町営住宅など公的住宅の整備	8.8%	13.2%	7.7%	12.8%	8.2%	10.7%	7.4%	4.7%	28.6%
	ボランティアなど地域福祉活動の支援	7.8%	5.3%	7.3%	5.8%	12.3%	7.4%	7.4%	7.6%	0.0%
	無回答	9.3%	6.6%	2.8%	4.7%	5.3%	9.1%	14.1%	18.5%	28.6%
	回答者数計	1633	76	246	258	244	298	163	341	7

⑥自治振興の分野

- 自治振興の分野では、「雇用の促進」、「みくまり峡森林公園を活用した魅力発信」および「町内会活動の支援の充実・強化」が30%を超えています。
- 「観光マップ作成等によるPR」は14.1%と低く、自治振興との関係性があまり認識されていないことが伺えます。



●年齢別

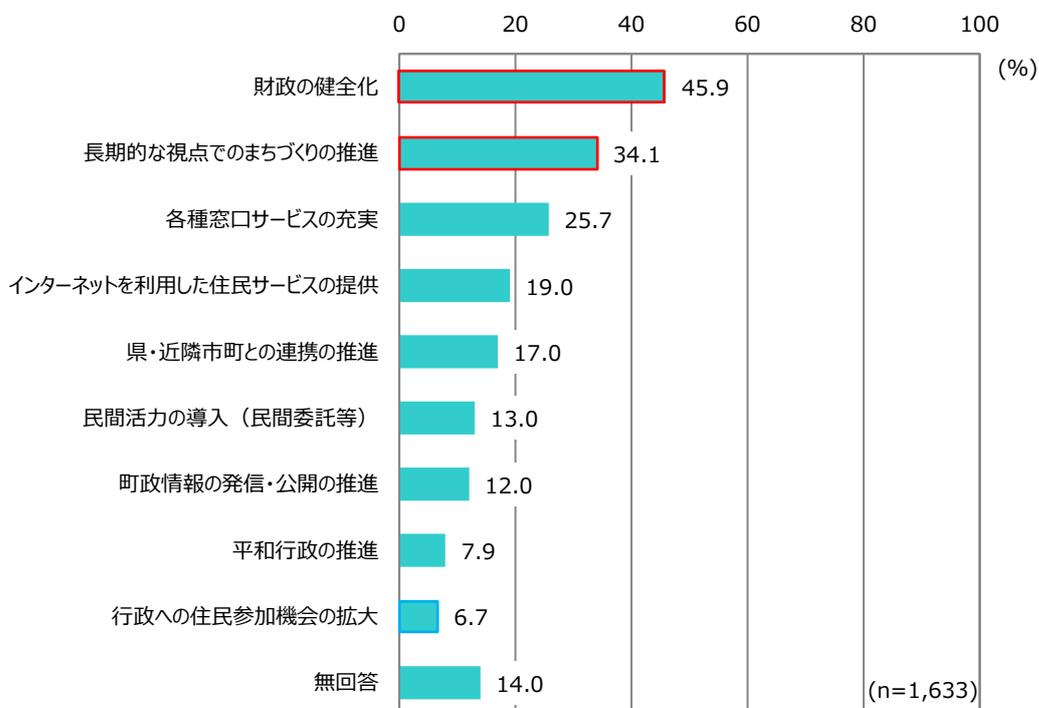
- 年齢別に比較すると、20歳～69歳の間では「雇用の促進」が多くなっています。
- その他の年齢では、40歳～49歳では「みくまり峡森林公園を活用した魅力発信」が多く、70歳以上では「町内会活動の支援の充実・強化」が多くなっています。

※各年代別に最大値項目から順に色付け。

	全体	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	無回答	
自治振興の分野	雇用の促進	34.4%	39.5%	37.8%	39.5%	43.0%	40.6%	24.5%	20.2%	28.6%
	みくまり峡森林公園を活用した魅力発信	34.2%	28.9%	37.0%	40.3%	33.6%	32.2%	36.2%	30.2%	28.6%
	町内会活動の支援の充実・強化	31.2%	25.0%	22.8%	29.8%	28.7%	32.6%	39.9%	36.7%	14.3%
	中小企業の支援の充実・強化	23.6%	27.6%	29.3%	28.3%	25.8%	26.5%	16.6%	14.4%	28.6%
	祭り等のイベントへの支援	23.3%	25.0%	33.3%	35.3%	23.8%	18.5%	18.4%	13.5%	0.0%
	観光マップ作成等によるPR	14.1%	23.7%	16.3%	15.5%	16.4%	14.8%	9.8%	9.1%	14.3%
	無回答	14.3%	7.9%	8.5%	5.0%	8.2%	10.4%	20.2%	31.7%	28.6%
	回答者数計	1633	76	246	258	244	298	163	341	7

⑦町政運営・サービス等の分野

➤町政運営・サービス等の分野では、「財政の健全化」が45.9%と最も多く、「長期的な視点でのまちづくりの推進」が34.1%が続いています。
 ➤「行政への住民参加機会の拡大」が6.7%と低く、協働のまちづくりに対する意識啓発の必要性が示されています。



●年齢別

➤全年代で「財政の健全化」が多くなっています。
 ➤20歳～29歳では、「長期的な視点でのまちづくりの推進」と「インターネットを利用した住民サービスの提供」が、他の年代と比べて特に多くなっています。

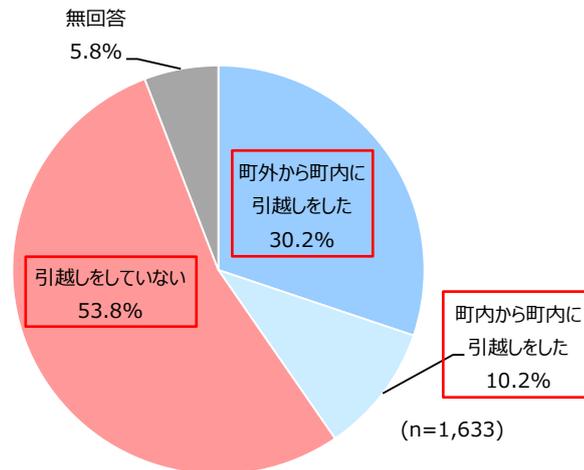
※各年代別に最大値項目から順に色付け。

	全体	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	無回答	
町政運営・サービス等の分野	財政の健全化	45.9%	36.8%	45.9%	48.1%	51.6%	47.3%	43.6%	41.9%	57.1%
	長期的な視点でのまちづくりの推進	34.1%	46.1%	32.1%	37.2%	39.3%	33.9%	33.1%	27.0%	57.1%
	各種窓口サービスの充実	25.7%	26.3%	30.1%	30.6%	25.4%	26.2%	20.2%	21.7%	0.0%
	インターネットを利用した住民サービスの提供	19.0%	40.8%	33.3%	31.0%	22.1%	11.1%	6.1%	6.2%	0.0%
	県・近隣市町との連携の推進	17.0%	15.8%	14.6%	15.9%	20.1%	18.1%	19.6%	15.5%	0.0%
	民間活力の導入 (民間委託等)	13.0%	6.6%	13.4%	17.1%	17.2%	13.4%	12.3%	8.2%	0.0%
	町政情報の発信・公開の推進	12.0%	5.3%	9.8%	7.8%	11.5%	17.1%	12.3%	14.1%	14.3%
	平和行政の推進	7.9%	7.9%	5.7%	6.6%	5.3%	11.4%	9.8%	8.5%	0.0%
	行政への住民参加機会の拡大	6.7%	2.6%	4.5%	6.2%	5.7%	9.4%	6.7%	7.6%	14.3%
	無回答	14.0%	7.9%	9.8%	7.4%	8.2%	11.4%	19.0%	27.3%	14.3%
回答者数計	1633	76	246	258	244	298	163	341	7	

5. 府中町へ転入したきっかけや理由などについて

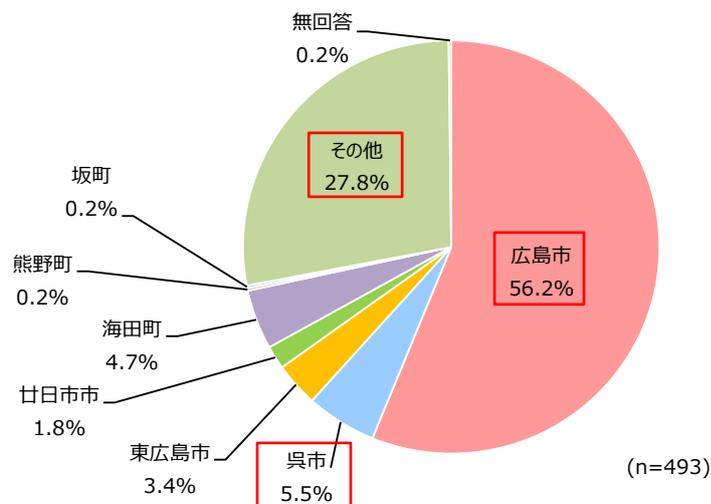
問 16 最近 10 年以内に引越しをしましたか。

➤ 「引越しをしていない」が 53.8%と半数を超え、「町外から町内に引越しをした」が 30.2%、「町内から町内に引越しをした」が 10.2%となっています。



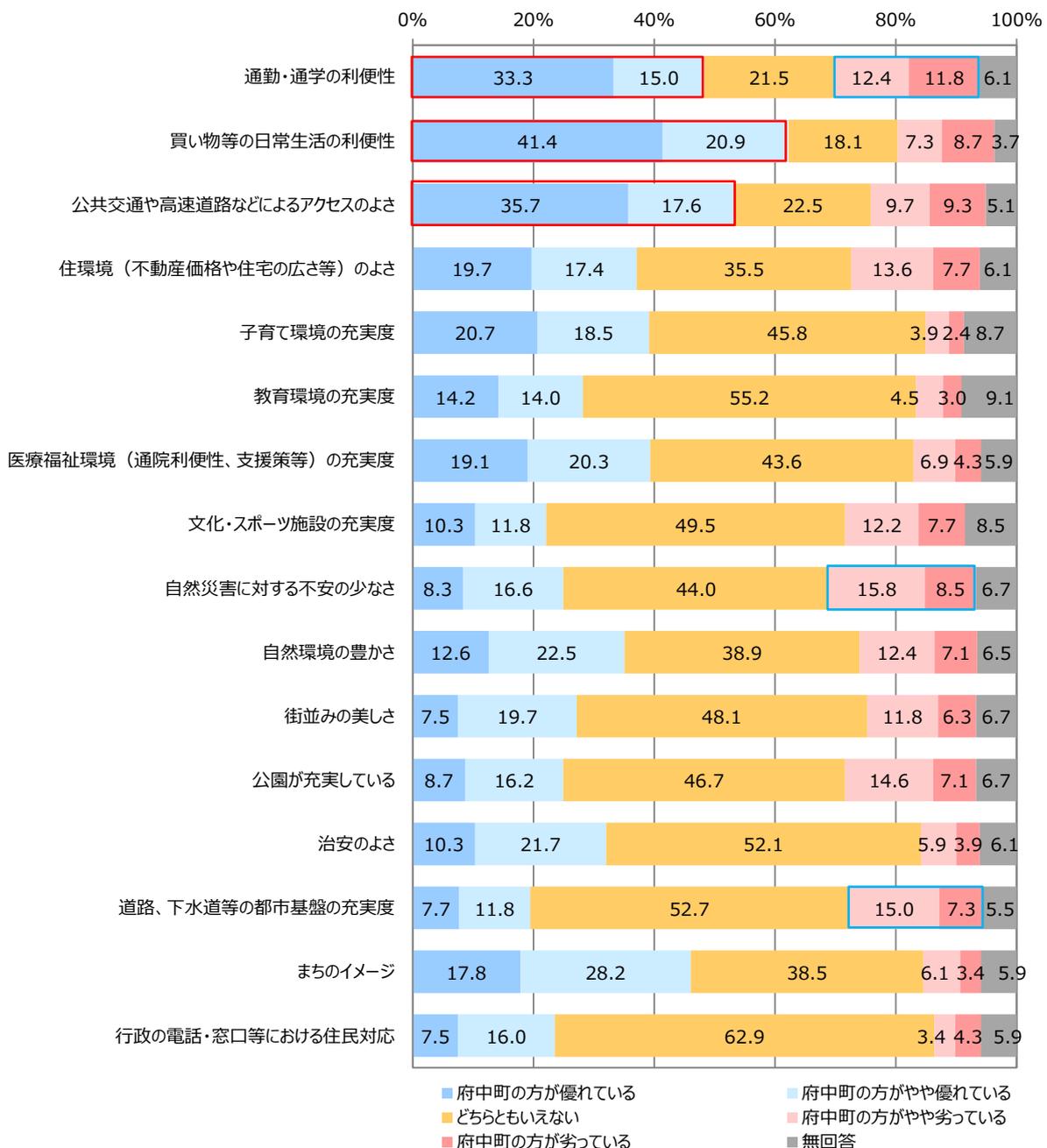
問 17 転入前の居住地はどこでしたか。

➤ 転入前の居住地は、「広島市」が 56.2%と半数を超えており、「その他」が 27.8%、「呉市」が 5.5%となっています。



問 18 以前居住していた市町村と府中町のイメージについて、どちらが優れていると思うか、次の項目をそれぞれ5段階で評価してください。

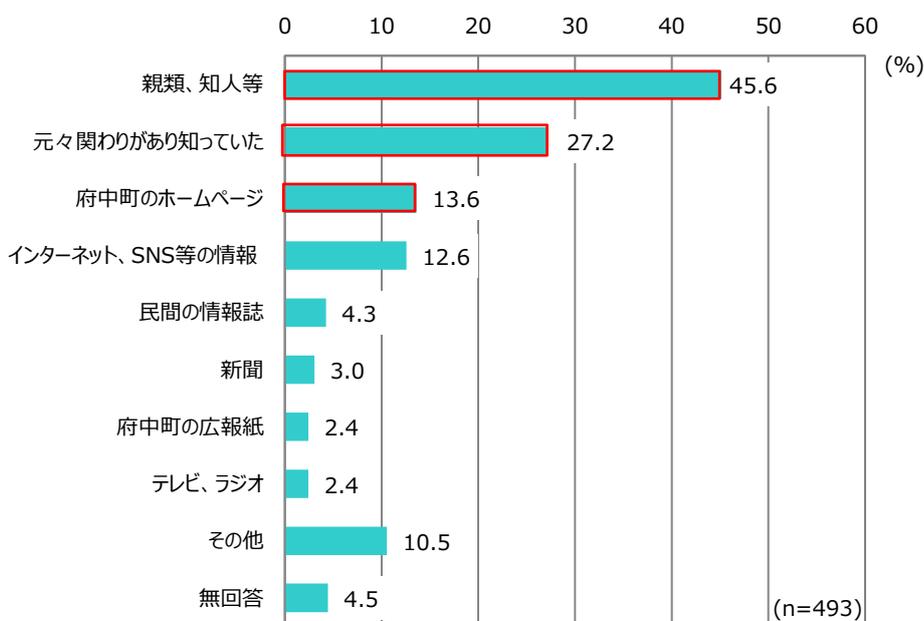
- 以前居住していた市町村とのイメージの比較では、府中町の方が優れている（「府中町の方が優れている」、「府中町の方がやや優れている」の合計）が多い項目は、「買い物等の日常生活の利便性」62.3%、「公共交通や高速道路などによるアクセスのよさ」53.3%、「通勤・通学の利便性」48.3%などとなっています。
- 一方、府中町の方が劣っている（「府中町の方が劣っている」、「府中町の方がやや劣っている」の合計）が多い項目は、「自然災害に対する不安の少なさ」24.3%、「通勤・通学の利便性」24.2%、「道路、下水道等の都市基盤の充実度」22.3%などとなっています。
- 「通勤・通学の利便性」は両方で上位にあがっていますが、居住地による公共交通の利便性の差が影響していると考えられます。



問 19 引越し前に府中町に関する情報をどこから得ましたか。

➤引越し前にどこから情報を得たかは、「親類、知人等」が45.6%と最も多く、次いで「元々関わりがあり知っていた」が27.2%、「府中町のホームページ」が13.6%となっています。

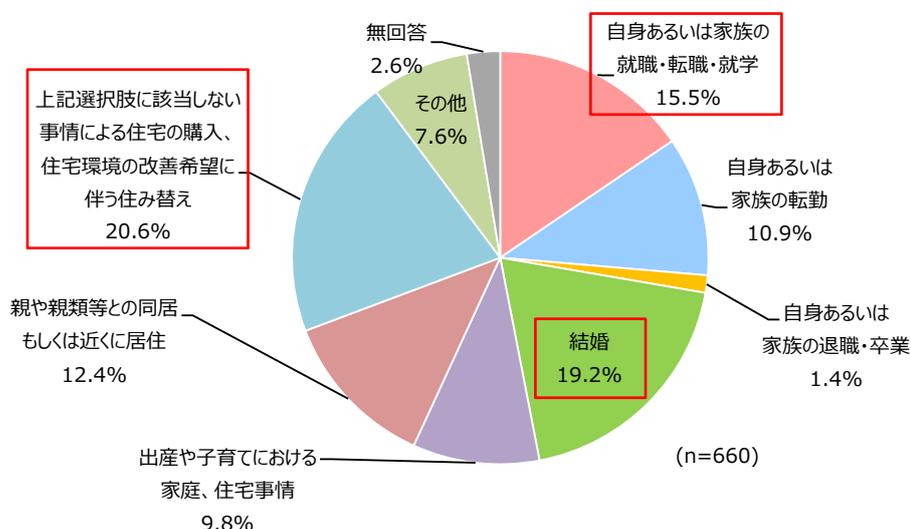
➤幅広い情報を集めるには、「府中町のホームページ」や「インターネット、SNS等の情報」が有効となっていることが示されています。



問 20 引越しをしたきっかけはどういう理由でしたか。

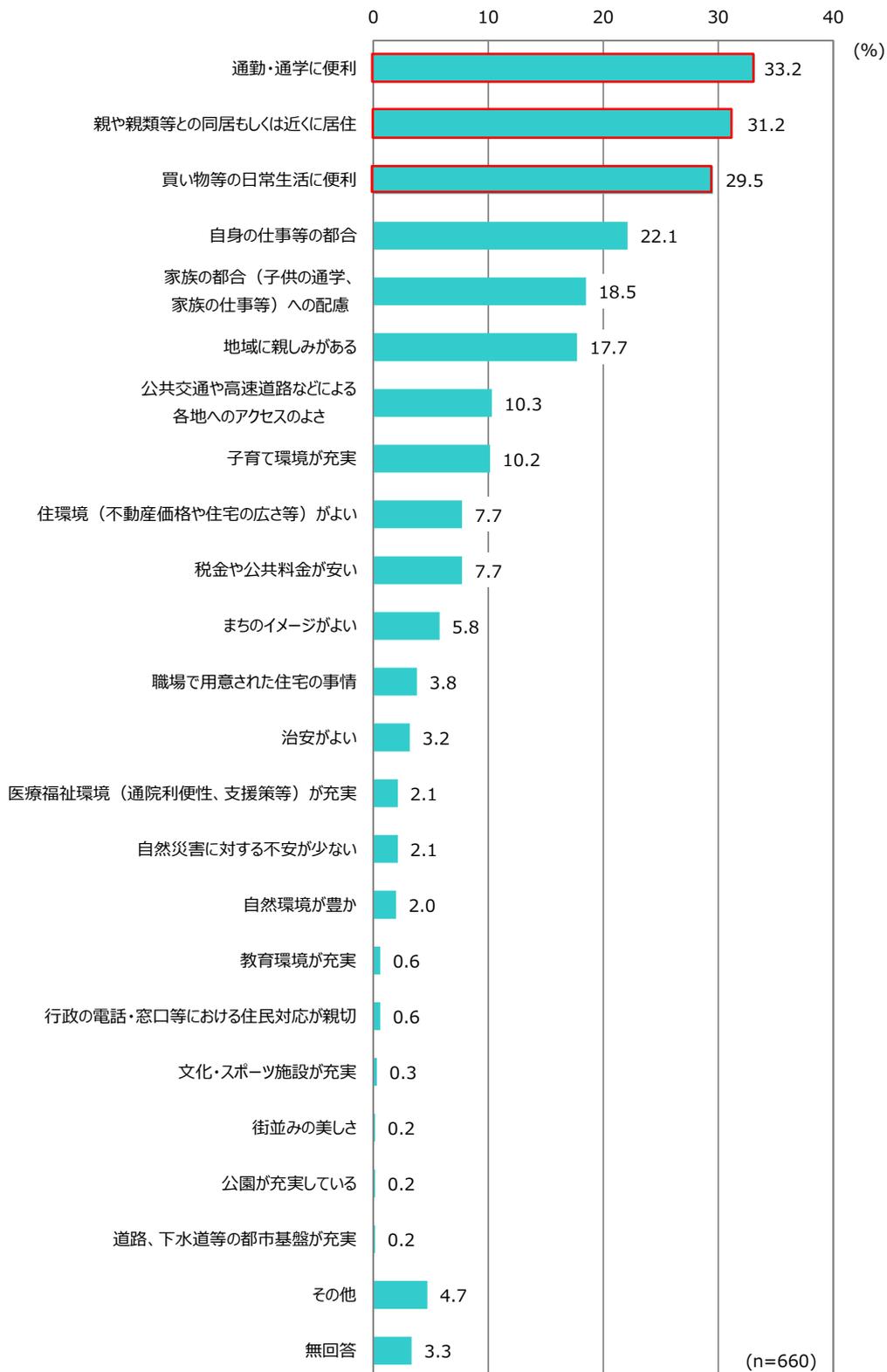
➤引越しをしたきっかけについては、「上記選択肢に該当しない事情による住宅の購入、住宅環境の改善希望に伴う住み替え」が20.6%と最も多くなっています。

➤これに次いで「結婚」19.2%、「自身あるいは家族の就職・転職・就学」15.5%などの、ライフステージの変化がきっかけとなっています。



問 21 引越し先を府中町に決めた理由は何ですか。下の選択肢から、あてはまる番号に○をつけてください。

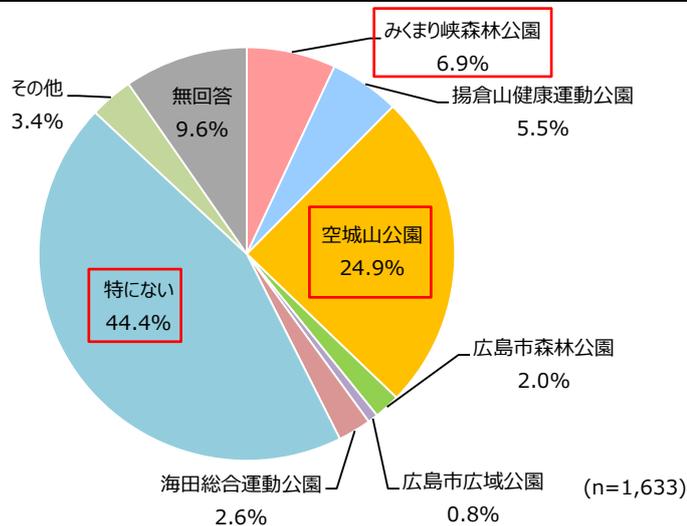
➤府中町に決めた理由は、上位から「通勤・通学に便利」33.2%、「親や親類等との同居もしくは近くに居住」31.2%、「買い物等の日常生活に便利」29.5%となっています。
 ➤通勤・買い物等の日常生活の利便性や、家族・仕事等の社会的事情が、選択条件として重要視されていることが伺えます。



問 22 休日等に次の①～②の目的で町内外を問わずよく訪れる場所がありますか。

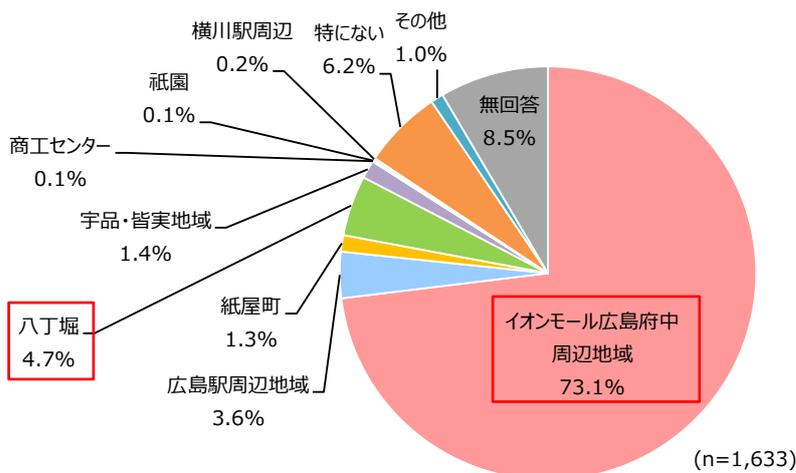
①スポーツ・レクリエーションの場合

- 「特にない」が44.4%と突出しています。
- 具体的な場所としては「空城山公園」が24.9%、「みくまり峡森林公園」は6.9%と、居住地に近いという身近さや活動目的の違いが理由として考えられます。



②ショッピング・娯楽目的の場合

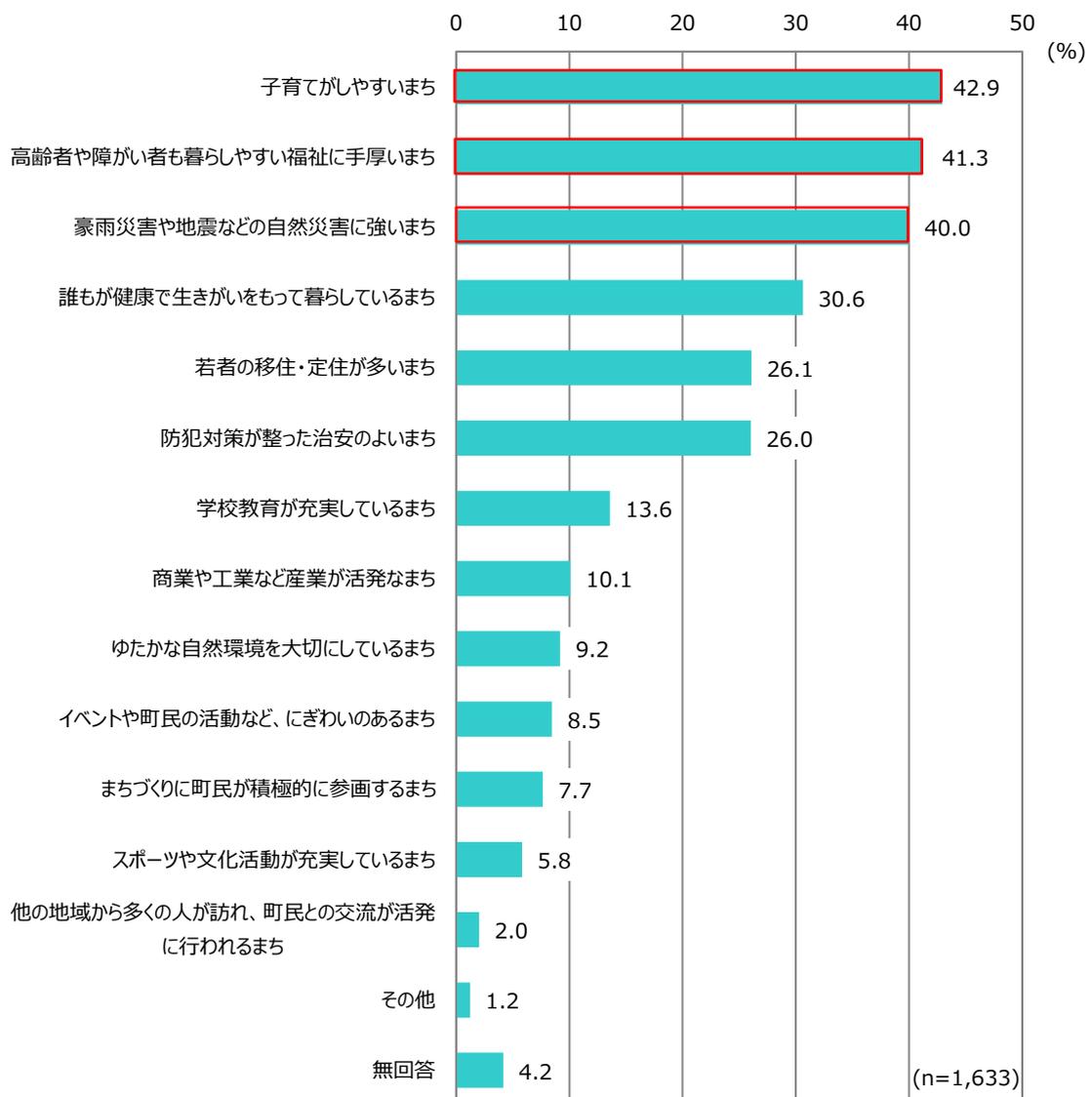
- ショッピング・娯楽目的の場合は、「イオンモール広島府中周辺地域」が73.1%と突出しています。
- それに次ぐのは、「八丁堀」の4.7%です。



6. 府中町のまちづくりの将来像について

問 23 あなたは、今後、府中町がめざしていくべき将来像として、どのようなまちになっていくのが望ましいと思いますか。

- めざしていくべき将来像として、「子育てがしやすいまち」42.9%、「高齢者や障がい者も暮らしやすい福祉に手厚いまち」41.3%、「豪雨災害や地震などの自然災害に強いまち」40.0%などの3項目が40%を超えています。
- 町民生活が安心・安全に過ごせる環境構築が、まちづくりにとって最も重要と考えられていることが伺えます。



●年齢別

- 子育て世代の20歳～49歳では、「子育てがしやすいまち」が50%を超え特に多くなっています。
- 年齢が高くなるにつれて「高齢者や障がい者も暮らしやすい福祉に手厚いまち」の割合が多くなる傾向が見られます。
- 一方、全年代で「他の地域から多くの人を訪れ、町民との交流が活発に行われるまち」は少なくなっています。まちづくりにおける関係人口や交流人口の重要性について、個人的な認識では考えられていないことが伺えます。

※各年代別に最大値項目から順に色付け。

	全体	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	無回答
子育てがしやすいまち	42.9%	65.8%	76.4%	51.9%	36.9%	41.6%	31.9%	17.6%	42.9%
高齢者や障がい者も暮らしやすい福祉に手厚いまち	41.3%	15.8%	17.5%	31.8%	41.0%	51.7%	53.4%	56.9%	28.6%
豪雨災害や地震などの自然災害に強いまち	40.0%	42.1%	40.2%	46.9%	40.6%	42.3%	32.5%	35.2%	42.9%
誰もが健康で生きがいをもって暮らしているまち	30.6%	19.7%	17.1%	21.7%	30.7%	39.3%	38.7%	37.2%	71.4%
若者の移住・定住が多いまち	26.1%	31.6%	24.0%	23.6%	25.4%	27.2%	30.7%	26.1%	0.0%
防犯対策が整った治安のよいまち	26.0%	23.7%	26.4%	26.7%	26.2%	23.8%	28.8%	26.1%	28.6%
学校教育が充実しているまち	13.6%	15.8%	26.4%	22.1%	10.2%	9.4%	6.1%	7.0%	14.3%
商業や工業など産業が活発なまち	10.1%	13.2%	11.4%	12.0%	15.2%	5.7%	6.1%	9.4%	0.0%
ゆたかな自然環境を大切にしているまち	9.2%	10.5%	8.5%	8.5%	8.6%	11.1%	8.6%	9.1%	0.0%
イベントや町民の活動など、にぎわいのあるまち	8.5%	10.5%	12.6%	10.9%	10.7%	6.7%	5.5%	4.7%	0.0%
まちづくりに町民が積極的に参画するまち	7.7%	2.6%	7.3%	7.8%	8.6%	9.4%	6.7%	7.3%	0.0%
スポーツや文化活動が充実しているまち	5.8%	9.2%	5.7%	6.2%	7.8%	5.0%	1.8%	5.9%	14.3%
他の地域から多くの人を訪れ、町民との交流が活発に行われるまち	2.0%	0.0%	1.6%	1.9%	0.8%	1.7%	3.7%	3.2%	0.0%
その他	1.2%	0.0%	1.6%	0.4%	2.5%	1.0%	1.2%	1.2%	0.0%
無回答	4.2%	0.0%	0.8%	2.3%	2.5%	1.7%	6.1%	11.1%	14.3%
回答者数計	1633	76	246	258	244	298	163	341	7

7. その他・ご意見・ご提言

問 24 町政全般についてのご意見・ご提言、将来のまちづくりについてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

➤自由意見の記載票数は 494 件で、回収件数に占める記載率は 30.3%となっています。
 ➤記載のあった意見を下表の項目に分類し整理しました。なお記載内容が複数の項目に関連する場合には複数カウントしています。

1. 生活利便の向上	232	4. 保健・福祉の充実等	89
車道・歩道の整備	84	子育て支援の充実	30
公共交通機関の充実	43	高齢者福祉の充実	19
道路交通網の整備	36	障がい・福祉サービスの充実	12
買い物、飲食店等の充実	23	健康づくりの推進	8
向洋駅周辺の区画整理・JR 高架化の推進	18	医療体制の充実	8
下水道の普及	10	高齢者の社会参画の推進	5
不動産価格や家賃の抑制	7	上記項目以外の保健・福祉関連	7
住宅地の整備、住環境の向上	7	5. 環境保全	74
上記項目以外の生活利便関連	4	公園の整備	37
2. 町政運営・サービス等	125	まちの景観形成・保全	14
町内放送の充実	29	ごみ捨て場の整備	7
情報公開・伝達の推進	24	自然環境の保全	5
窓口サービスの充実	24	上記項目以外の環境保全関連	11
他自治体との合併	11	6. 教育環境の充実等	47
町営住宅の充実	8	青少年の育成環境の充実	15
財政の健全化	7	学校教育の充実	15
町議員について	6	イベントの開催、充実	11
行政への住民参加機会の拡大	6	歴史や文化の保全	5
上記項目以外の町政運営・サービス関連	10	上記項目以外の教育環境関連	1
3. 安心・安全の確保	120	7. 住みよいまちという評価・まちづくりへの期待	21
防災の充実	43	8. その他	9
防犯体制の充実	28		
交通安全施策の強化	22	合計	717
住民同士の交流の促進	10		
タバコ規制の強化	7		
上記項目以外の安心・安全関連	10		